

Content Manager

ヘルプ

CTM-1

概要

本セクションでは、本ソフトウェアの機能および操作の流れについて説明しています。

- 特長
- 操作の流れ
- システム要件
- ネットワークについてのご注意
- インストールと起動方法
- ファイアウォールの設定
- HTTPS 通信の設定
- フルディスクアクセスの設定

特長

Content Manager は、オプティカルディスクアーカイブシステムを利用して映像ファイルなどを管理するためのソフトウェアです。

本ソフトウェアの主な機能は次のとおりです。

- 映像・音声ファイルをカートリッジにアーカイブします。アーカイブの際にメタデータを抽出してデータベースに登録することで、アーカイブしたファイルの管理が容易になります。オプティカルディスクアーカイブシステムのドライブに挿入されている（オンライン）カートリッジだけでなく、棚管理している（オフライン）カートリッジも管理できます。
- アーカイブしたファイルの一覧を表示したり、映像のサムネイルやプレビュー用のプロキシ映像を表示することができます。
- アーカイブしたファイルをメタデータ等で検索できます。音声から書き起こしたテキストや登録した顔画像を使用した検索も可能です。
- アーカイブしたファイルをカートリッジからコンピューターにリトリブできます。

本ソフトウェアの各機能がサポートしているファイルフォーマットについては、「各機能のサポートファイルフォーマット」をご覧ください。

操作の流れ

アーカイブの流れ

カムコーダーなどで撮影した素材や編集後の映像データなどを、カートリッジに保存することができます。保存する際には、後で検索・利用しやすいように、メタデータを映像データから抽出したり、編集したりすることができます。

Step 1 ファイルをアーカイブする

メディアやコンピューターのファイル / フォルダを選択して、カートリッジに保存します。



Step 2 メタデータを抽出する

アーカイブする際に、ファイルから情報を抽出してメタデータとして設定することができます。音声テキストとして抜き出したり、映像に映っている人物を抽出することができます。



Step 3 メタデータを編集する

アーカイブ後に、メタデータを編集することができます。

- カートリッジのメタデータを編集する
- ファイルのメタデータを編集する



Step 4 カートリッジのラベルを印刷する

カートリッジの整理用に、ラベルを印刷することができます。



Step 5 ファイル一覧を出力する

カートリッジにアーカイブしたファイルの一覧を出力できます。

リトリーブの流れ

カートリッジにアーカイブしたファイルをコンピューターにコピーします。リトリーブするファイルは、メタデータなどを利用して検索することができます。

Step 1 リトリーブするファイルを探す

- 検索画面で探す

アーカイブしたデータの中から、リトリーブしたいファイルを検索します。テキスト、日付、および人物をキーとして検索することができます。

- アーカイブ画面で探す
- 閲覧画面で探す



Step 2 ファイルをリトリーブする

リトリーブ先のフォルダーを指定してリトリーブします。

- アーカイブ画面からリトリーブする

ファイルを直接ドラッグ&ドロップして、リトリーブします。

- 閲覧画面または検索画面からリトリーブする

リトリーブ先のフォルダーを指定してリトリーブします。

システム要件

項目	要件
プロセッサ	Intel Core i5 3 GHz 以上
メモリー	8 GB 以上 ご注意 Optical Disc Archive Software に必要な容量を除いた値です。
ハードディスクドライブ 空き容量	<ul style="list-style-type: none"> インストールには 500 MB 以上のハードディスクドライブの空き容量が必要です。 1000 時間分のファイルをアーカイブするには、約 300 GB のハードディスクドライブ空き容量が必要です（必要な空き容量は管理するファイルの数およびフォーマットによります）。 カートリッジ上のファイルのメタデータを抽出する際は、メタデータを抽出するファイルの合計サイズ以上の空き容量がハードディスクドライブに必要です。最大では、カートリッジの容量と同じ空き容量が必要になります。 ご注意 Optical Disc Archive Software に必要な容量を除いた値です。
OS	Windows Microsoft Windows 10 64 ビット版 Microsoft Windows 11 64 ビット版 macOS macOS 11.7 Big Sur macOS 12.6 Monterey macOS 13.5 Ventura
Web ブラウザー	Windows Microsoft Internet Explorer 11、Microsoft Edge、または Google Chrome macOS Safari 14/15/16 または Google Chrome
ディスプレイ	解像度：1280 × 960 ピクセル以上
ドライバー	Optical Disc Archive Software Optical Disc Archive Software の最新バージョンを入手してご使用ください。また、ドライブのファームウェアを最新のものに更新してください。 ご注意 Content Manager を使用している場合は、Optical Disc Archive Filer を起動できません。Optical Disc Archive Filer を使用する場合は、Content Manager のサービスを停止してから起動してください。（Optical Disc Archive Filer は、Optical Disc Archive Software に含まれています）

ネットワークについてのご注意

使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者からアクセスされる可能性があります。ネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。

インストールと起動方法

インストールとアクティベーション

Content Manager を使用するには、ソフトウェアのアクティベーションが必要です。インストール後、初めて起動するときにアクティベーションが行われます。

1. 画面の指示に従って本ソフトウェアをインストールする。
2. Web ブラウザーを起動し、下記の URL にアクセスする。

`http://localhost:8080/`

3. 画面の指示に従って本ソフトウェアのアクティベーションを行う。

アクティベーションでは、シリアルナンバーの入力が必要になります。Content Manager のシリアルナンバーは、オプティカルディスクアーカイブシステムに同梱されています。^{a)}

アクティベーションが終了すると、初回ログイン用のログイン画面が表示されます。

4. 管理ユーザーを登録する。

初回ログイン用のログイン画面では、ユーザー ID とパスワードが設定できます。設定すると、アーカイブ画面が表示されます。

a) シリアルナンバーは、1 台のコンピューターでのみ使用できます。2 台目以降のコンピューターで本ソフトウェアをご利用の場合は、ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイトで追加のシリアルナンバーをご購入ください。

2 回目以降の起動

Web ブラウザーで本ソフトウェアの URL (`http://localhost:8080/`) にアクセスします。

設定済みのユーザー ID とパスワードをログイン画面に入力してください。

ご注意

パスワードを忘れてしまった場合は、パスワードを再発行してメール通知設定で登録したメールアドレスに通知することができます。ログイン画面で、「パスワードを忘れた場合はこちら」をクリックしてください。

メール通知設定をしていない場合は、パスワードの再発行はできません。

他のコンピューターから Content Manager を使用する

Content Manager をインストールしたコンピューターのファイアウォール設定で 8080 ポートのインバウンドアクセスを許可すると、他のコンピューターからネットワーク経由でアクセスして Content Manager を使用することができます。

他のコンピューターで Web ブラウザーを起動して、下記の URL にアクセスしてください。

`http:// (Content Manager をインストールしたコンピューターの IP アドレス) :8080/`

なお、他のコンピューターから Content Manager を使用する場合は、使用できる操作に一部制限があります。

ご注意

Content Manager をインストールしたコンピューターにウィルス対策ソフトなどのセキュリティソフトがインストールされている場合、他のコンピューターからの 8080 ポートへのインバウンドアクセスがブロックさ

れる場合があります。このような場合は、セキュリティソフトでポート 8080 へのインバウンドアクセスを許可するよう設定してください。設定方法については、セキュリティソフトの取扱説明書をご覧ください。

終了

次のいずれかの操作をしてください。

- グローバルメニューのログアウトアイコンをクリックする。
- Web ブラウザーを終了する。

アンインストール

Windows

ご使用の OS のソフトウェアアンインストール手順に従ってください。

macOS

インストーラーに同梱されているアンインストーラーをダブルクリックし、画面の指示に従ってアンインストールしてください。

ファイアウォールの設定

外部からの MariaDB への接続をブロックするために、以下のファイアウォール設定を行うことを推奨します。

Windows の場合

1. [コントロールパネル] > [システムとセキュリティ] > [Windows ファイアウォール] > [詳細設定] > [受信の規則] > [新しい規則...] を選択する。
2. 新規の受信の規則ウィザードで、以下を設定する。
 - 規則の種類: [ポート] を選択
 - プロトコルおよびポート: [TCP]、[特定のローカルポート] (ポートに「3306」を指定) を選択
 - 操作: [接続をブロックする] を選択
 - プロファイル: すべてをチェック
 - 名前: 「MariaDBPort」を入力
3. [完了] をクリックする。
4. 再度、[新しい規則...] を選択して、新規の受信の規則ウィザードを表示し、以下を設定する。
 - 規則の種類: [ポート] を選択
 - プロトコルおよびポート: [UDP]、[特定のローカルポート] (ポートに「3306」を指定) を選択
 - 操作: [接続をブロックする] を選択
 - プロファイル: すべてにチェック
 - 名前: 「MariaDBPort」を入力
5. [完了] をクリックする。

macOS の場合

1. [システム環境設定] > [セキュリティとプライバシー] > [ファイアウォール] を選択する。
2. カギのアイコンをクリックし、[ファイアウォールをオンにする] を選択する。
3. mysqld へのネットワーク受信接続ダイアログの [拒否] ボタンをクリックする。

HTTPS 通信の設定

HTTPS 通信の設定をすることで、通信を暗号化できるようになります。

キーストアファイルの生成

1. コマンドプロンプトを起動する。
2. 以下のコマンドを入力する。

Windows

```
cd C:\Program Files\Zulu\zulu-8-jre\bin  
keytool -genkey -alias tomcat -keyalg RSA -keysize 2048 -keystore < キーストアファイル名 >
```

キーストアファイル名の例：contentmanager.keystore

macOS

```
keytool -genkey -alias tomcat -keyalg RSA -keysize 2048 -keystore < キーストアファイル名 >
```

キーストアファイル名の例：contentmanager.keystore

3. キーストアのパスワードを設定するプロンプトが表示されたら、パスワードを入力する。

```
Enter keystore password: *****
```

(パスワードは表示されません)

4. 確認入力を促すプロンプトが表示されたら、同じパスワードを再入力する。

```
Re- enter new password: *****
```

(パスワードは表示されません)

5. CSR に指定する情報を入力する。

入力例：

```
What is your first and last name?  
[Unknown]: www.sony.jp  
What is the name of your organizational unit?  
[Unknown]: Content Manager  
What is the name of your organization?  
[Unknown]: Sony Corporation  
What is the name of your City or Locality?  
[Unknown]: Minato-ku  
What is the name of your State or Province?  
[Unknown]: Tokyo  
What is the two-letter country code for this unit?  
[Unknown]: JP
```

6. 入力した情報が下記のように表示されたら、内容を確認して、「y」と入力する。

```
Is CN=www.sony.jp, OU=Content Manager, O=Sony Corporation, L=Minato-ku, ST=Tokyo, C=JP  
correct?  
[no]: y
```

7. 下記のプロンプトが表示されたら、何も入力せずリターンキーを押す。

```
Enter key password for (RETURN if same as keystore password):
```

手順 2 で指定したファイル名で、作業ディレクトリにキーストアファイルが作成されます。

CSR の生成

1. コマンドプロンプトを起動する。
2. 以下のコマンドを入力する。

Windows

```
cd C:\Program Files\Zulu\zulu-8-jre\bin
keytool -certreq -sigalg SHA1withRSA -alias tomcat -file < CSR ファイル名> -keystore <キーストアファイル名>
```

CSR ファイル名の例 : contentmanager.csr

macOS

```
keytool -certreq -sigalg SHA1withRSA -alias tomcat -file < CSR ファイル名> -keystore <キーストアファイル名>
```

CSR ファイル名の例 : contentmanager.csr

3. プロンプトが表示されたら、キーストアファイル作成時に指定したパスワードを入力する。

```
Enter keystore password: *****
```

手順 2 で指定したファイル名で、CSR ファイルが生成されます。

サーバ証明書の発行

生成した CSR を認証局に渡して、署名されたサーバ証明書を発行してもらいます。

アプリケーションで使うサーバ証明書の生成

1. 署名されたサーバ証明書と中間証明書を任意のディレクトリに配置する。
2. コマンドプロンプトを起動する。
3. 署名されたサーバ証明書と中間証明書を一つのファイルにする。

Windows

```
copy <署名済みのサーバ証明書ファイル名> + <中間証明書ファイル名> <アプリケーションで使うサーバ証明書ファイル名>
```

アプリケーションで使うサーバ証明書ファイル名の例 : contentmanager.cer

macOS

```
cat <署名済みのサーバ証明書ファイル名> <中間証明書ファイル名> > <アプリケーションで使うサーバ証明書ファイル名>
```

アプリケーションで使うサーバ証明書ファイル名の例 : contentmanager.cer

証明書のインストール

1. 以下のコマンドを入力する。

Windows/macOS

```
keytool -import -alias tomcat -keystore <キーストアファイル名> -file <前項の手順 3 で作成したファイル名>
```

2. プロンプトが表示されたら、キーストアファイル作成時に指定したパスワードを入力する。

```
Enter keystore password: *****
```

3. 以下のようなプロンプトが表示された場合には「y」と入力する。


```

Top-level certificate in reply:
Owner: CN=*****, O=*****, C=**
Issuer: OU=*****, O=*****, C=**
Serial number: *****
Valid from: ***** until: *****
Certificate fingerprints:
MD5: *****
... is not trusted. Install reply anyway? [no]: y

```

実際の画面では、** には登録されている情報が表示されます。

HTTPS の有効化

Windows の場合

1. Tomcat サービスを停止する。
 - i. [スタート] メニューから [Windows 管理ツール] > [サービス] をクリックする。
 - ii. サービス一覧から「Apache Tomcat」という名前のサービスを探し、クリックする。
 - iii. サービス一覧の左側の [サービスの停止] をクリックする。
2. Tomcat の設定ファイル (server.xml) を編集する。
 - i. C:\Program Files\Apache Software Foundation\Tomcat 7.0\conf\server.xml を開く。
 - ii. 104 行目付近に実際のドメイン名を入力する。

変更前

```
<Engine name="Catalina" defaultHost="localhost">
```

変更後

```
<Engine name="Catalina" defaultHost="<ドメイン名>">
```

- iii. 124 行目付近に実際のドメイン名を入力する。

変更前

```
<Host name="localhost" appBase="webapps"
  unpackWARs="true" autoDeploy="true">
```

変更後

```
<Host name="<ドメイン名>" appBase="webapps"
  unpackWARs="true" autoDeploy="true">
```

- iv. 85 行目付近のコメントアウトされている個所を有効にする。
- v. 「変更後」の内容をコピーする。
- vi. <キーストアファイル名>に実際のキーストアファイル名をフルパスで入力し、<キーストアのパスワード>にキーストアファイル作成時に指定したパスワードを入力する。

変更前

```
<!--
<Connector port="8443" protocol="HTTP/1.1" SSLEnabled="true"
  maxThreads="150" scheme="https" secure="true"
  clientAuth="false" sslProtocol="TLS" />
-->
```

変更後

```
<Connector port="8443"
protocol="org.apache.coyote.http11.Http11Protocol"
SSLEnabled="true"
maxThreads="150"
scheme="https"
secure="true"
keystoreFile=" <キーストアファイル名> "
keystorePass=" <キーストアのパスワード> "
clientAuth="false"
sslProtocol="TLSv1.2"
sslEnabledProtocols="TLSv1.1,TLSv1.2"
ciphers="TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384,
TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384,
TLS_ECDH_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384,
TLS_ECDH_ECDSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384,
TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256,
TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256,
TLS_ECDH_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256,
TLS_ECDH_ECDSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256,
TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384,
TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384,
TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA,
TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_CBC_SHA,
TLS_ECDH_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384,
TLS_ECDH_ECDSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384,
TLS_ECDH_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA,
TLS_ECDH_ECDSA_WITH_AES_256_CBC_SHA,
TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256,
TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256,
TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA,
TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_CBC_SHA,
TLS_ECDH_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256,
TLS_ECDH_ECDSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256,
TLS_ECDH_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA,
TLS_ECDH_ECDSA_WITH_AES_128_CBC_SHA"
/>
```

HTTP 通信を禁止する場合は、70 行目付近の以下をコメントアウトします。

変更前

```
<Connector port="8080" protocol="HTTP/1.1"
connectionTimeout="20000"
redirectPort="8443"
useBodyEncodingForURI="true" />
```

変更後

```
<!--
<Connector port="8080" protocol="HTTP/1.1"
connectionTimeout="20000"
redirectPort="8443"
useBodyEncodingForURI="true" />
-->
```

3. Tomcat サービスを起動する。

- i. [スタート] メニューから [Windows 管理ツール] > [サービス] をクリックする。
- ii. サービス一覧から「Apache Tomcat」という名前のサービスを探し、クリックする。
- iii. サービス一覧の左側の [サービスの開始] をクリックする。

4. HTTPS 通信の確認を行う。

Web ブラウザーを起動して「https:// <ドメイン名> :8443」にアクセスし、ログイン画面が表示されることを確認してください。

macOS の場合

1. Tomcat サービスを停止する。

コマンドプロンプトで以下のコマンドを実行してください。

```
sudo launchctl unload /Library/LaunchDaemons/org.apache.tomcat.plist
```

2. Tomcat の設定ファイル (server.xml) をコピーして編集する。

- i. /usr/local/tomcat7/conf/server.xml をホームディレクトリなどにコピーし、コピーしたファイルを開く。

権限の問題により、直接編集することはできません。

- ii. 104 行目付近に実際のドメイン名を入力する。

変更前

```
<Engine name="Catalina" defaultHost="localhost">
```

変更後

```
<Engine name="Catalina" defaultHost="<ドメイン名>">
```

- iii. 124 行目付近に実際のドメイン名を入力する。

変更前

```
<Host name="localhost" appBase="webapps"
unpackWARs="true" autoDeploy="true">
```

変更後

```
<Host name="<ドメイン名>" appBase="webapps"
unpackWARs="true" autoDeploy="true">
```

- iv. 85 行目付近のコメントアウトされている箇所を有効にする。
- v. 以下の「変更後」の内容をコピーする。

- vi. <キーストアファイル名>に実際のキーストアファイル名をフルパスで入力し、<キーストアのパスワード>にキーストアファイル作成時に指定したパスワードを入力する。
- vii. 編集したファイルを /usr/local/tomcat7/conf/server.xml に上書きコピーする。

変更前

```
<!--  
<Connector port="8443" protocol="HTTP/1.1" SSLEnabled="true"  
maxThreads="150" scheme="https" secure="true"  
clientAuth="false" sslProtocol="TLS" />  
-->
```

変更後

```
<Connector port="8443"
protocol="org.apache.coyote.http11.Http11Protocol"
SSLEnabled="true"
maxThreads="150"
scheme="https"
secure="true"
keystoreFile=" <キーストアファイル名> "
keystorePass=" <キーストアのパスワード> "
clientAuth="false"
sslProtocol="TLSv1.2"
sslEnabledProtocols="TLSv1.1,TLSv1.2"
ciphers="TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384,
TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384,
TLS_ECDH_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384,
TLS_ECDH_ECDSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384,
TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256,
TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256,
TLS_ECDH_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256,
TLS_ECDH_ECDSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256,
TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384,
TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384,
TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA,
TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_256_CBC_SHA,
TLS_ECDH_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384,
TLS_ECDH_ECDSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384,
TLS_ECDH_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA,
TLS_ECDH_ECDSA_WITH_AES_256_CBC_SHA,
TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256,
TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256,
TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA,
TLS_ECDHE_ECDSA_WITH_AES_128_CBC_SHA,
TLS_ECDH_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256,
TLS_ECDH_ECDSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256,
TLS_ECDH_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA,
TLS_ECDH_ECDSA_WITH_AES_128_CBC_SHA"
/>
```

HTTP 通信を禁止する場合は、70 行目付近の以下をコメントアウトします。

変更前

```
<Connector port="8080" protocol="HTTP/1.1"
connectionTimeout="20000"
redirectPort="8443"
useBodyEncodingForURI="true" />
```

変更後

```
<!--
<Connector port="8080" protocol="HTTP/1.1"
connectionTimeout="20000"
redirectPort="8443"
useBodyEncodingForURI="true" />
-->
```

3. Tomcat サービスを起動する。

コマンドプロンプトで以下のコマンドを実行してください。

```
sudo launchctl load /Library/LaunchDaemons/org.apache.tomcat.plist
```

4. HTTPS 通信の確認を行う。

Web ブラウザーを起動して「https:// <ドメイン名> :8443」にアクセスし、ログイン画面が表示されることを確認してください。

フルディスクアクセスの設定

macOS で Content Manager を使用する場合、「フルディスクアクセス」許可の設定をする必要があります。下記の手順に従って設定を行ってください。

1. アップルメニュー > [システム環境設定] > [セキュリティとプライバシー] を開く。
2. [プライバシー] タブを選択し、[フルディスクアクセス] を選択する。
3. 左下のカギアイコンをクリックする。
4. ユーザー名、パスワードを入力し、[ロックを解除] をクリックする。
5. [+] ボタンをクリックする。
6. [MacintoshHD] > [アプリケーション] > [Content Manager.app] を選択し、[開く] ボタンをクリックする。
7. [Content Manager.app] が登録され、チェックボックスが選択状態であることを確認する。
8. [MacintoshHD] > [アプリケーション] > [Content Manager.app] を選択し、右クリックする。
9. [パッケージの内容を表示] を選択する。
10. [Contents] > [SharedSupport] > [FileManagerService] を選択し、[開く] ボタンをクリックする。
11. [FileManagerService] が登録され、チェックボックスが選択状態であることを確認する。

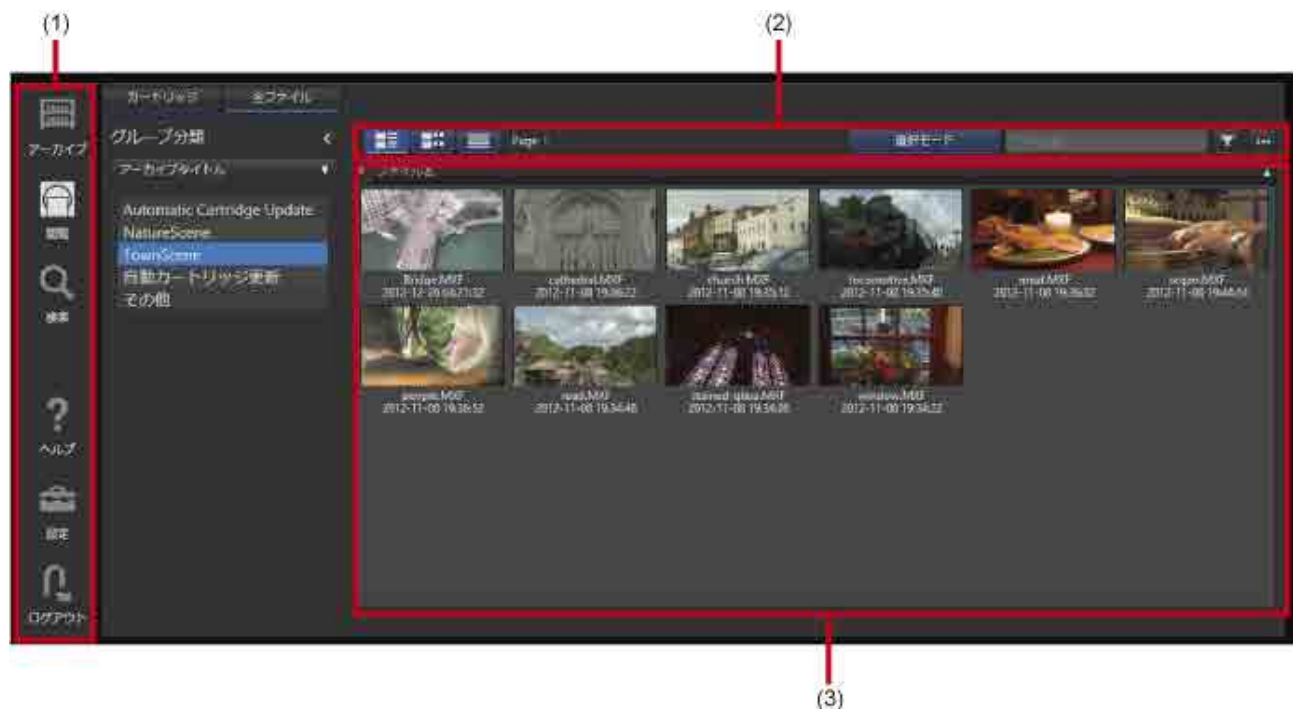
操作画面

本セクションでは、本ソフトウェアの各画面について、各部の機能と働きを説明しています。

- 各画面に共通する項目
- ファイルの詳細ダイアログ
- アーカイブ画面
- 閲覧画面
- 検索画面
- 設定画面
 - 個人設定ページ
 - メタデータページ
 - ユーザーとグループページ
 - アーカイブページ
 - メンテナンスページ
 - 通知ページ



各画面に共通する項目





本ソフトウェアの各画面に共通する画面項目について説明します。




(1) グローバルメニュー

アイコンをクリックして、画面を移動します。

-  (アーカイブ) : アーカイブ / リトリブを行う画面を表示する。
-  (閲覧) : アーカイブしたデータを閲覧する画面を表示する。

-  (検索)：アーカイブしたデータを検索する画面を表示する。
-  (ヘルプ)：ヘルプおよびバージョン情報を表示する。
-  (設定)：設定画面を表示する。
-  (ログアウト)：ログアウトする。

アイコンに  が表示されているときは、何らかのメッセージがあります。アイコンにカーソルを合わせるとメッセージが表示されます。




(2) ツールバー

ファイル一覧を操作するボタンなどを表示します。閲覧画面および検索画面に表示されます。



(a) ファイル表示切り替え

ファイル一覧の表示方法を切り替えます。

-  (タイル表示)：代表画のサムネイルとメタデータを表示します。
-  (サムネイル表示)：代表画のサムネイルとメタデータ、およびシーンサムネイルを表示します。
-  (フラット表示)：ファイル名とメタデータを表示します。

各表示方法については、「(3) ファイル一覧」をご覧ください。

(b) ページ切り替え

ファイル一覧のページを切り替えます。

(c) [選択モード] ボタン

ファイル一覧のファイルをクリックしたときに、ファイルを選択するか、[ファイルの詳細] ダイアログを表示するかを選択します。

オンの場合、ファイル一覧にチェックボックスが表示され、クリックすることでファイルが選択できます。オフの場合、クリックするとそのファイルの [ファイルの詳細] ダイアログが表示されます。

(d) ファイル検索

テキストを入力してボタンをクリックすると、指定したテキストをファイル名に含むファイルだけがファイル一覧に表示されます。

(e) プルダウンメニュー

次のメニューがあります。


- メタデータ編集：[メタデータ編集] ダイアログを表示し、選択したファイルまたはフォルダーのメタデータを表示、編集します。
- メタデータ抽出：[メタデータ抽出] ダイアログを表示し、選択したファイルまたはフォルダーのメタデータを抽出（再抽出）します。
- リトリブ：選択したファイルをリトリブします。

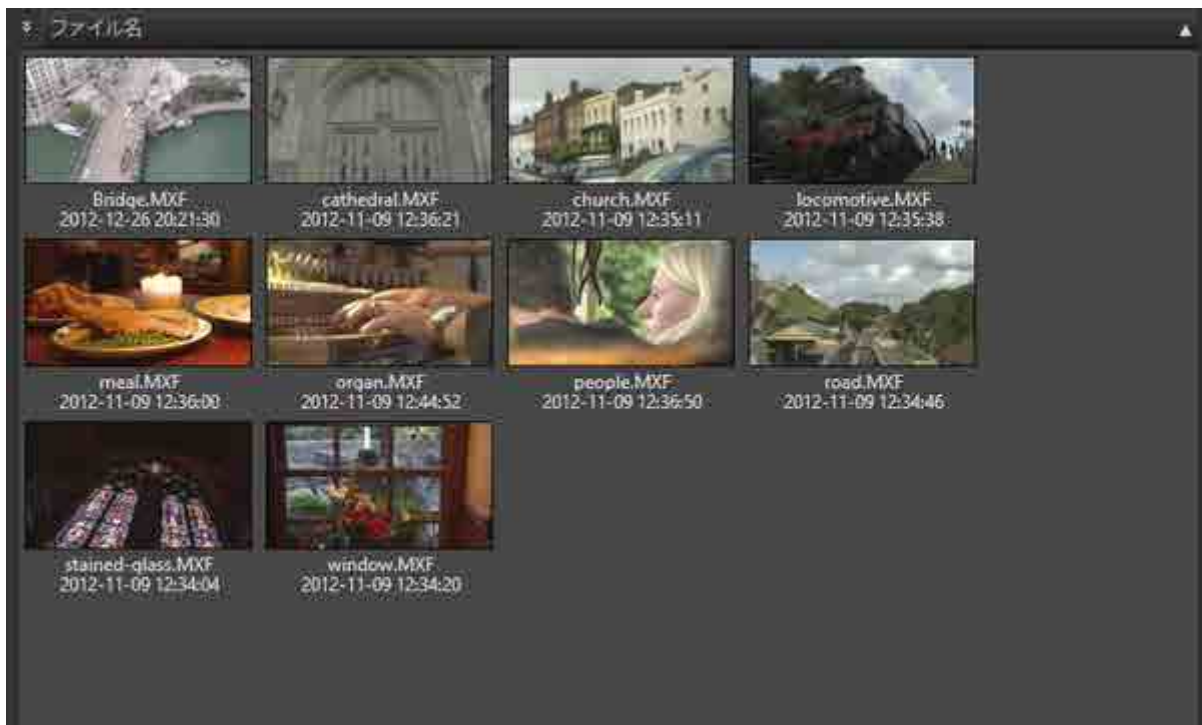
- 全選択 / 全選択解除：ファイル一覧のファイルをすべて選択します。または、選択をすべて解除します。
- 削除：選択したファイルまたはフォルダーを削除します。オフラインのファイルおよびフォルダーは削除できません。
- 表示するカラム：ファイル一覧に表示する項目を選択します。

(3) ファイル一覧


カートリッジやフォルダー内のファイルの一覧を表示します。閲覧画面および検索画面に表示されます。ファイル一覧は、次の表示形式があります。

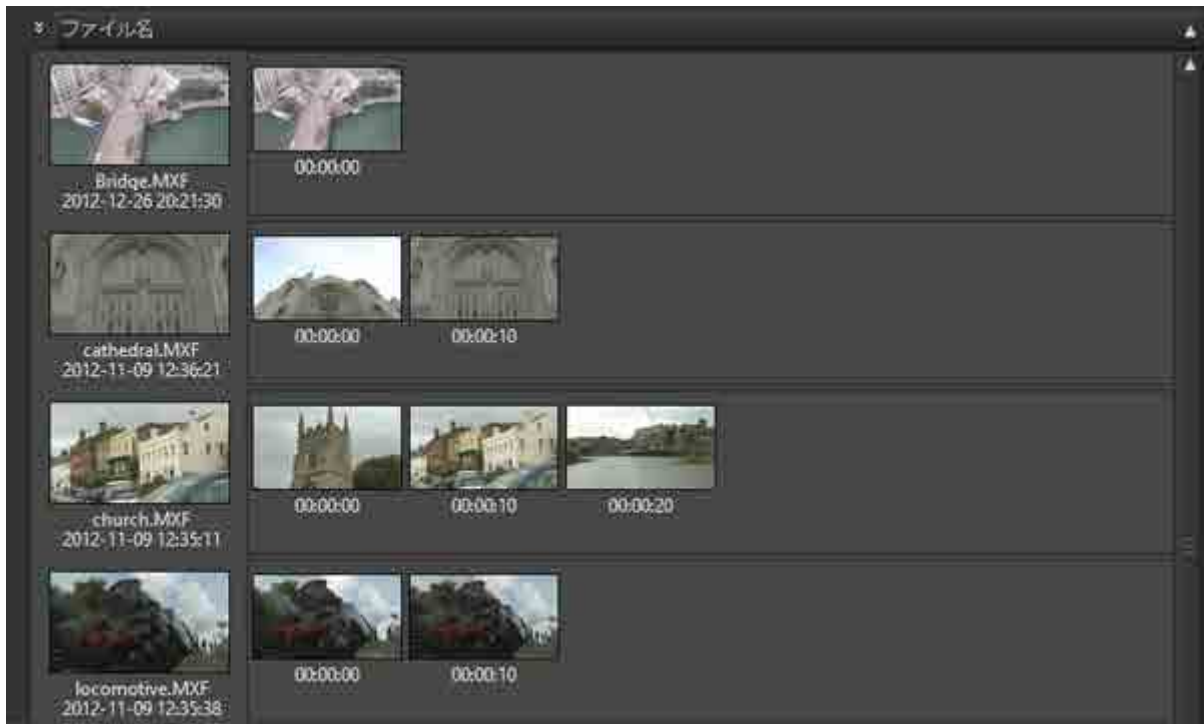
タイル表示

代表画のサムネイルとメタデータを表示します。ファイルが複数のディスクにまたがって記録されている場合は、代表画のサムネイルに  マークが表示されます。










サムネイル表示

代表画のサムネイルとメタデータ、およびシーンサムネイルを表示します。ファイルが複数のディスクにまたがって記録されている場合は、代表画のサムネイルに  マークが表示されます。



フラット表示

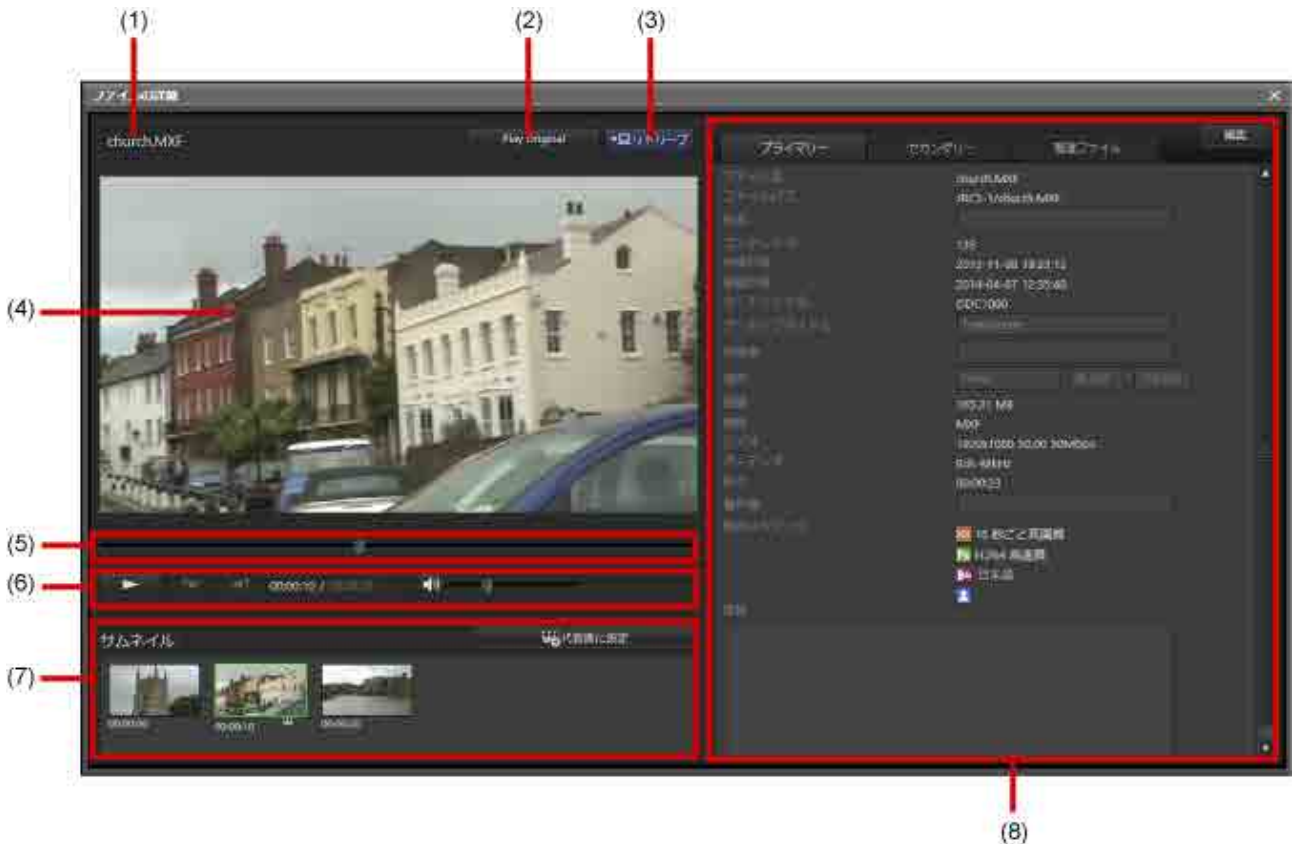
ファイル名とメタデータを表示します。ファイルが複数のディスクにまたがって記録されている場合は、アイコンに  マークが表示されます。

ファイル名	別名	コンテンツID	作成日時	登録日時	カート
 Bridge.MXF		92	2012-12-26 20:21:30	2013-08-28 21:14:33	ODC1
 cathedral.MXF		81	2012-11-09 12:36:21	2013-08-28 15:56:52	ODC1
 church.MXF		82	2012-11-09 12:35:11	2013-08-28 15:56:52	ODC1
 locomotive.MXF		83	2012-11-09 12:35:38	2013-08-28 15:56:52	ODC1
 meal.MXF		84	2012-11-09 12:36:00	2013-08-28 15:56:52	ODC1
 organ.MXF		85	2012-11-09 12:44:52	2013-08-28 15:56:52	ODC1
 people.MXF		86	2012-11-09 12:36:50	2013-08-28 15:56:52	ODC1
 road.MXF		87	2012-11-09 12:34:46	2013-08-28 15:56:52	ODC1
 stained-glass.MXF		88	2012-11-09 12:34:04	2013-08-28 15:56:52	ODC1
 window.MXF		89	2012-11-09 12:34:20	2013-08-28 15:56:52	ODC1


ファイルの詳細ダイアログ

ファイル一覧で選択モードがオフになっているときにファイルをクリックすると「ファイルの詳細」ダイアログが表示されます。

表示される情報はアーカイブ時に登録され、カートリッジがドライブに挿入されていなくても表示できます。



(1) ファイル名

ファイル名を表示します。選択したファイルが複数のディスクにまたがって記録されている場合は、マークが表示されます。

(2) [Play Original] ボタン

Catalyst Browse を起動して、選択したファイルの映像をカートリッジから再生します。

ご注意

次の場合は、映像を再生できません。

- Catalyst Browse がインストールされていない
- カートリッジが使用中（アーカイブ、リトリブ、ファイル削除、メタデータ抽出、メタデータ更新、カートリッジへの書き込みの実行中）
- カートリッジがオフライン状態
- 選択したファイルがカートリッジ内の複数のディスクにまたがって記録されている
- ファイルのフォーマットが Catalyst Browse でサポートされていない (Catalyst Browse のサポートフォーマットについては、Catalyst Browse のヘルプをご覧ください)

(3) [リトリート] ボタン

ファイルをリトリートします。[リトリート] ダイアログが表示され、リトリートするファイルの保存先を指定します。

(4) プロキシビューワー

選択したファイルのプロキシ映像を表示します。

(5) スライダー

再生位置を移動します。音声書き起こし検索や顔検索を行った場合は、検出位置にメタデータマークが表示されます。

(6) コントロールエリア

プロキシビューワーの操作を行います。再生、前後のメタデータマークへの移動、音量の調整ができます。

(7) サムネイル

映像から一定間隔で抽出されたサムネイル画像が表示されます。[代表画に設定] ボタンをクリックすると、選択したサムネイルを代表画に設定します。





(8) ファイルメタデータエリア

ファイルのメタデータを表示します。[編集] ボタンをクリックすると、一部のメタデータが編集できるようになり、[編集] ボタンが[保存] ボタンに変わります。編集したあとは、必ず[保存] ボタンをクリックしてください。

ファイルメタデータエリアには、次のタブがあります。メタデータを[プライマリー] タブに表示するか、[セカンダリー] タブに表示するかは、設定画面の[メタデータ] ページで設定できます。

- プライマリー
- セカンダリー
- 関連ファイル：表示中のファイルに関連付けられているファイルが一覧で表示されます。

[抽出メタデータ] には、下記のメタデータが抽出済みのときにアイコンと抽出したメタデータの設定を表示します。

- ：サムネイル
- ：プロキシ映像
- ：音声検索用テキスト書き起こしデータ
- ：人物検索用顔認識データ

関連ファイルの関連付けを解除する

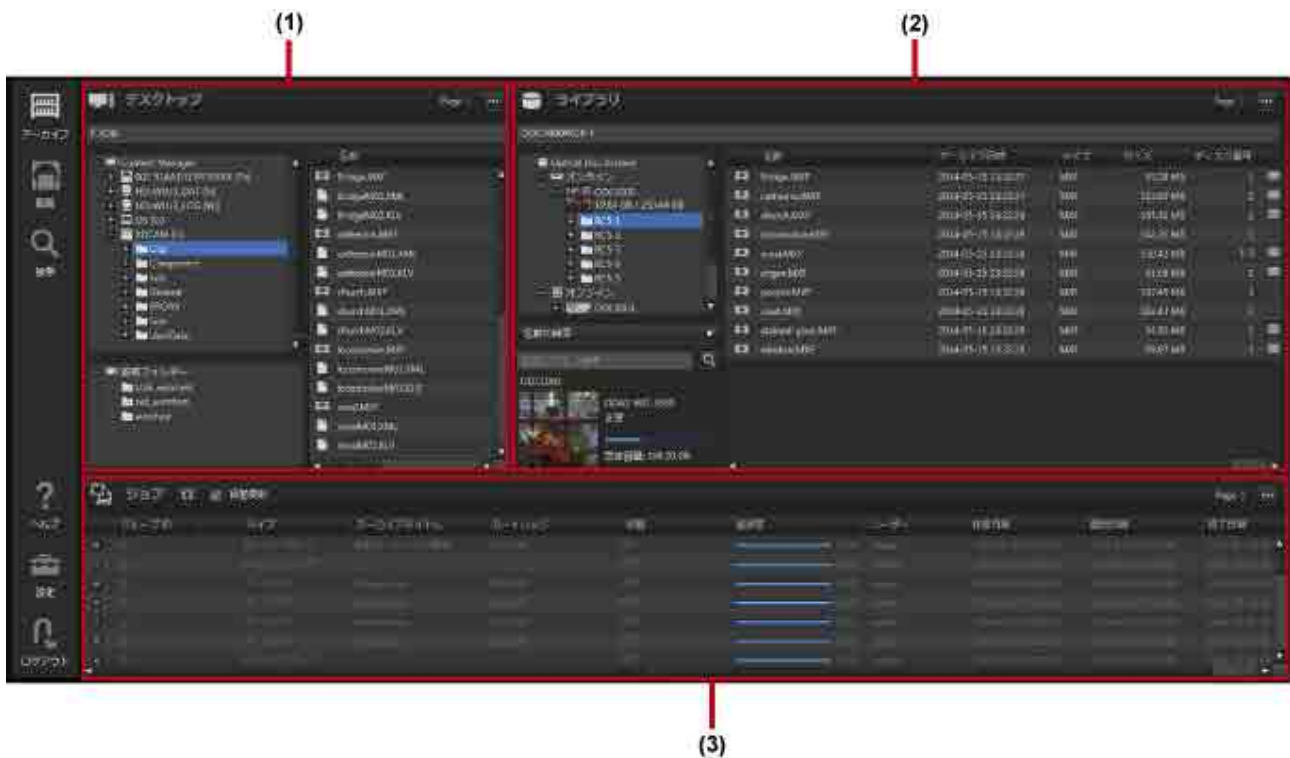
次の手順で、関連ファイルの関連付けを解除できます。

1. [関連ファイル] タブを開き、[編集] ボタンをクリックする。
関連ファイル名の前にチェックボックスが表示されます。
2. 関連付けを解除したいファイルのチェックボックスを選択する。
3. [削除] ボタンをクリックする。
選択したファイルが表示されなくなります。
4. [保存] ボタンをクリックする。

アーカイブ画面

アーカイブやリトリブなどの操作を行います。

アーカイブ画面は、次の各部から構成されます。



共通の操作

ツリーエリア（デスクトップ / ライブラリエリアの左側）

- 複数選択はできません

リストエリア（デスクトップ / ライブラリエリアの右側、ジョブエリア、[プレースホルダー] ダイアログ）

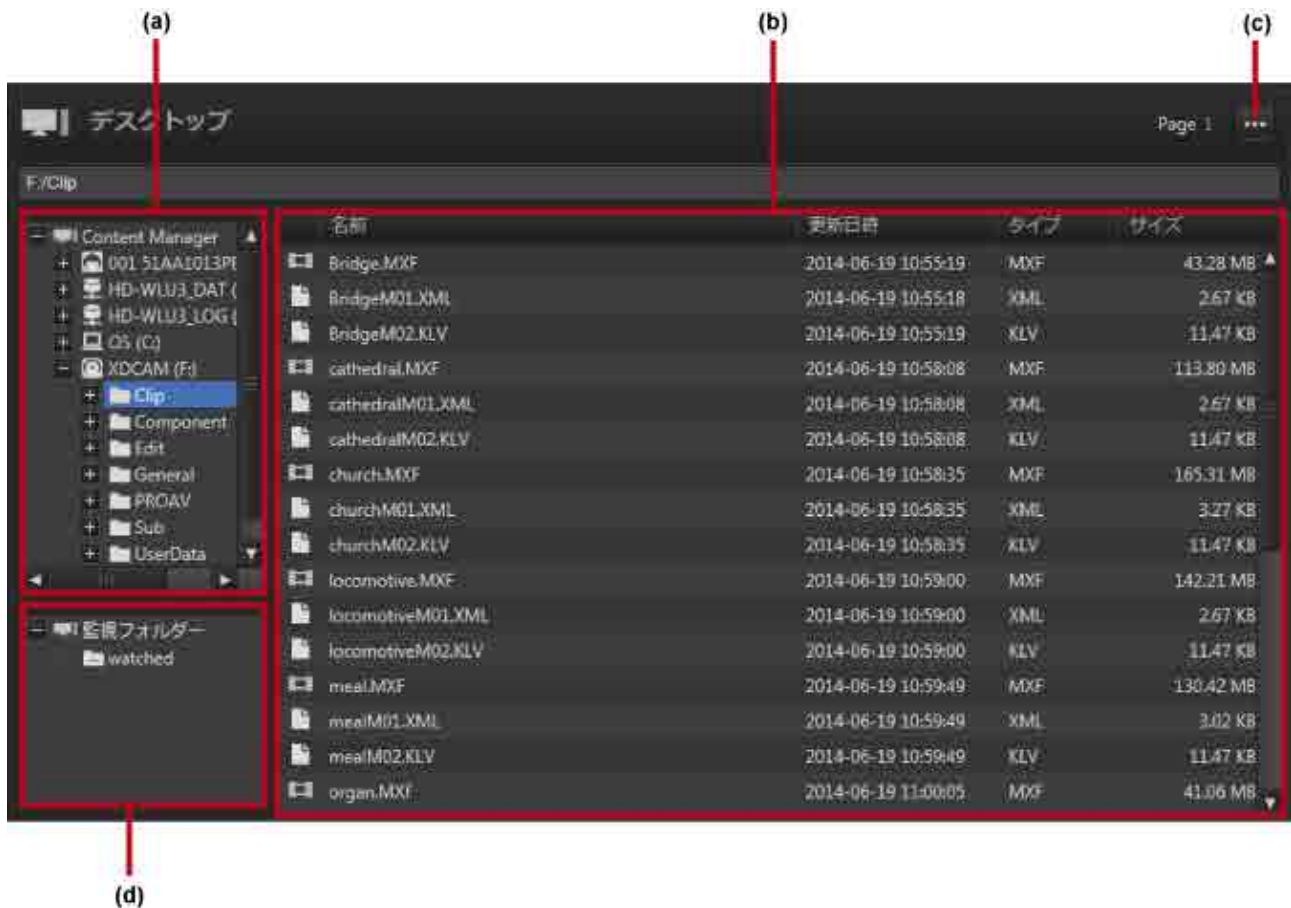
操作方法は、エクスプローラー（Windows）や Finder（macOS）と同じです。

- Shift キー、Ctrl キー（Windows）、Command キー（macOS）を押しながら選択することで、複数選択できます。
- Ctrl+A（Windows）、Command+A（macOS）で全選択できます。

(1) デスクトップエリア

ローカルコンピュータのフォルダーやファイルを表示します。

アーカイブ時には、アーカイブするファイルを選択します。リトリブ時には、リトリブするファイルの保存先を選択します。



(a) ツリーエリア

ローカルコンピュータのドライブやフォルダーを表示します。

ツリー表示のフォルダーをクリックすると、そのフォルダー以下の表示を最新の状態に更新します。

(b) リストエリア

ファイル / フォルダーリストには、次の内容を表示します。


- 名前：ファイル / フォルダー名
- 更新日時：最終更新日時
- タイプ：ファイルの拡張子
- サイズ：ファイルのサイズ

(c) プルダウンメニュー

...をクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。プルダウンメニューには、次のメニューがあります。

- プレースホルダーを開く：[プレースホルダー] ダイアログを開きます。プレースホルダーは、異なるフォルダーにあるファイルやフォルダーを一括してアーカイブする場合に、一時的にファイル / フォルダーを保持する仮想フォルダーです。
- 監視を停止：フォルダーを監視してアーカイブしている場合に、監視を停止します。
- フォルダー作成：ツリーエリアで選択しているフォルダーまたはドライブに新規フォルダーを作成します。
- 上へ：一つ上の階層のフォルダーへ移動します。
- フォルダーを開く：リストエリアで選択しているフォルダーを開きます。

(d) 監視フォルダー

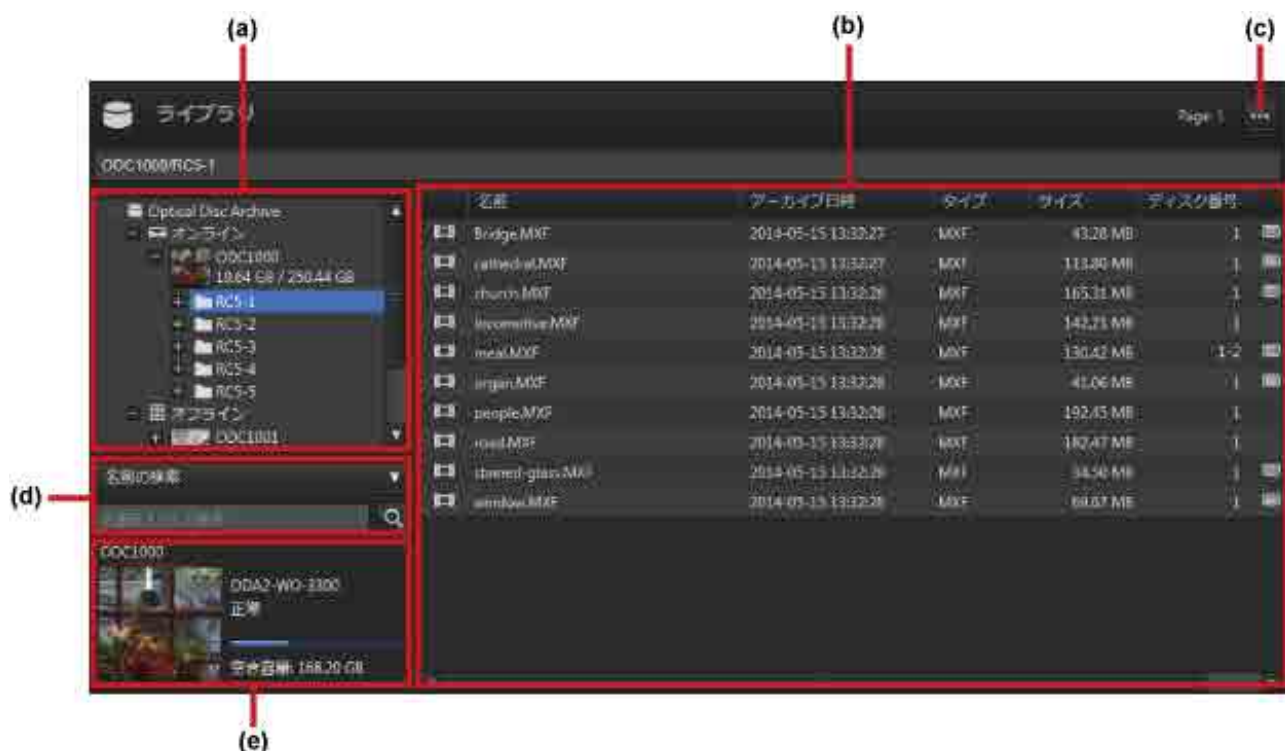
監視フォルダーとして設定されているフォルダーの一覧が表示されます。フォルダーを選択して、ライブラリエリアにドラッグ&ドロップすると、監視を開始します。監視中は、フォルダーアイコンがに変わります。

(2) ライブラリエリア

カートリッジにアーカイブされたファイルの一覧を表示します。

アーカイブ時には、ファイルの格納先を選択します。リトリブ時には、取り出すファイルを選択します。

ライブラリエリアには、ドライブに挿入されているカートリッジだけでなく、データベースに登録されているカートリッジすべてが表示されます。



(a) ツリーエリア

データベースに登録されているカートリッジとカートリッジ内のフォルダーをツリー表示します。オンラインフォルダーとオフラインフォルダーが表示され、その下にカートリッジが表示されます。

オンラインフォルダーには、ドライブに挿入されているカートリッジが表示されます。

オフラインフォルダーには、管理棚に保存されているカートリッジなど、ドライブに挿入されていないカートリッジが表示されます。

ツリー表示のフォルダーをクリックすると、そのフォルダー以下の表示が最新の状態に更新されます。

(b) リストエリア

カートリッジ内のファイル/フォルダーが一覧表示されます。次の内容が表示されます。

- オンライン/オフラインアイコン（検索を行った場合のみ。ファイルのオンライン/オフラインをアイコンで示します）
- ファイルタイプアイコン
- 名前：ファイル名
- アーカイブ日時：アーカイブされた日時
- タイプ：ファイルの拡張子
- サイズ：ファイルサイズ

- ディスク番号：ファイルが書き込まれているディスクの番号
- メタデータアイコン：メタデータの有無



：メタデータ有り

アイコン無し：メタデータ無し

- アーカイブアイコン：アーカイブ状態

アイコン無し：アーカイブ済み（この場合のみリトリブ可能）



：アーカイブ中




：アーカイブ中にエラー発生



：ファイルの状態をチェック中

(c) プルダウンメニュー

をクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。プルダウンメニューには、次のメニューがあります。

- メタデータ編集：[メタデータ編集] ダイアログを表示し、選択したファイルまたはフォルダーのメタデータを表示、編集します。
- メタデータ抽出：[メタデータ抽出] ダイアログを表示し、選択したファイルまたはフォルダーのメタデータを抽出（再抽出）します。
- カタログデータ出力：ツリーエリアまたはカートリッジエリアで選択しているカートリッジの中のファイルの一覧を、CSV フォーマットで出力します。
- メタデータ JSON 出力：ツリーエリアまたはカートリッジエリアで選択しているカートリッジ内の全ファイルのメタデータを JSON データで出力します。

ご注意

次の順序で操作してください。


1. Content Manager のサービスを終了する。
 2. Optical Disc Archive Filer を使ってカートリッジの全データをコピーする。
 3. Content Manager のサービスを起動する。
 4. [メタデータ JSON 出力] を実行し、[出力先フォルダー] に 2. で全データをコピーしたフォルダーを選択する。
- 削除：オフラインのカートリッジを選択した場合は、選択したカートリッジの情報を削除します。オンラインのカートリッジ内のファイルまたはフォルダーを選択した場合は、選択したファイルまたはフォルダーを削除します。オフラインのファイルは削除できません。
 - フォルダー作成：ツリーエリアで選択しているフォルダーまたはカートリッジに新規フォルダーを作成します。
 - 上へ：一つ上の階層のフォルダーへ移動します。
 - フォルダーを開く：リストエリアで選択しているフォルダーを開きます。
 - ファイルの場所を開く：リストエリアに検索結果が表示されているときに、選択しているファイルがあるフォルダーを開きます。

(d) 検索エリア

操作対象とするカートリッジを検索します。

1. ツリーエリアで検索対象のカートリッジやフォルダーを選択する。
2. リストボックスで検索タイプを指定する。
 - 名前の検索：入力したキーワードを名前に含むファイルおよびフォルダーを検索します。
 - ファイルの検索：入力したキーワードを名前に含むファイルを検索します。
 - フォルダーの検索：入力したキーワードを名前に含むフォルダーを検索します。
 - (メタデータのタイトル)：選択したメタデータの値に、入力したキーワードを含むファイルおよびフォルダーを検索します。
3. 検索キーワードを入力する。

「名前の検索」、「ファイルの検索」、または「フォルダーの検索」を選択した場合は、ファイル名またはフォルダー名の一部を入力します。

メタデータのタイトルを選択した場合は、メタデータの値を入力します。
4.  ボタンをクリックする。

検索結果がリストエリアに表示されます。

(e) カートリッジ表示

選択したカートリッジの情報を表示します。次の内容を表示します。

- カートリッジ名
- カートリッジの種別
 - ODC1-RE-300
 - ODC1-RE-600
 - ODC1-RE-1200
 - ODC1-WO-300
 - ODC1-WO-600
 - ODC1-WO-1500
 - ODC2-WO-3300
 - ODC3-WO-5500
- カートリッジの状態（正常、読み取り専用、エラー、チェック中）
- カートリッジの空き容量（バーでも表示されます）

ご注意

カートリッジの状態によっては、表示される容量と実際に使用できる容量が異なる場合があります。

(3) ジョブエリア

アーカイブ、リトリートなどのジョブが一覧表示されます。

一度の操作で複数のファイルやフォルダーをアーカイブ／リトリートした場合、1つのジョブグループとなります。ジョブグループ内で行われる1つのファイルの処理が、1つのジョブとなります。ジョブエリアにはジョブグループが表示され、ジョブグループの＋マークをクリックすると、各ジョブが表示されます。

登録されたジョブは、バックグラウンドで実行されます。ジョブの実行順序は、登録順とは異なる場合があります。

ジョブがカートリッジ交換待ちの場合、またはジョブが失敗した場合は、ジョブがハイライト表示されます。

ジョブリストでは、ジョブのキャンセルはできますが、実行順序を変更することはできません。



ボタンをクリックすると、表示を最新の状態に更新します。



プルダウンメニュー

をクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。プルダウンメニューには、次のメニューがあります。

- 一時停止：選択したジョブまたはジョブグループの処理を一時停止します。
- 再開：選択したジョブまたはジョブグループの処理を再開します。
- 中止：選択したジョブまたはジョブグループの処理を中止します。
- 再登録：選択したジョブグループ内の失敗またはキャンセルしたジョブを再登録します。
- 条件を変更して再登録：条件を変更してジョブを再登録することができます。すべてのジョブまたは、失敗したジョブのみを再登録することができます。アーカイブ先またはリトリブ先を変更することができます。
- ジョブレポートの表示：ジョブが失敗、停止、一時停止したときに、選択したジョブグループ内のジョブに対するレポートを表示します。
- ジョブレポートの出力：選択したジョブグループ内のジョブに対するレポートを、CSV フォーマットで出力します。
- 表示するカラム：ジョブリストに表示する項目を選択します。

ご注意

次の場合は、ジョブを中止できません。

- 管理者権限を持つユーザーが登録したジョブを一般ユーザー権限のユーザーが中止しようとした場合
- 既にキャンセルリクエスト済み (が表示されている) ジョブの場合

ジョブリスト

ジョブリストの表示内容は次のとおりです。表示する項目は、プルダウンメニューの「表示するカラム」で変更できます。

- グループ ID：ジョブグループ ID
- ID：ジョブ ID
- ：一時停止リクエストを受け付けたジョブ
- ：中止リクエストを受け付けたジョブ
- タイプ：ジョブの種類
 - アーカイブ：アーカイブ
 - リトリブ：リトリブ（優先実行の指定がされたリトリブジョブには（*）が表示される）
 - モニター：フォルダー監視アーカイブ
 - 削除：カートリッジ内のファイルの削除

- カートリッジ削除：データベース内のカートリッジ情報の削除
- DB アップデート：カートリッジの内容を読み込み、カートリッジ上のファイル情報を更新
- DB バックアップ：データベースのバックアップ
- メタデータ抽出：アーカイブ後のメタデータ再抽出
- メタデータ更新：カートリッジ自動更新時のメタデータ抽出
- JSON ファイル出力：カートリッジ内全ファイルのメタデータを JSON で出力
- アーカイブタイトル：アーカイブタイトル
- 名前：ファイル名
- カートリッジ：カートリッジ名
- 状態：ジョブの状態

ジョブの場合

- 登録済み：ジョブが登録され、実行開始を待っている。
- キャッシング：ジョブが開始し、キャッシュヘデータを転送中。
- 実行中：カートリッジをドライブで読み書きしている。進捗状況が「進捗度」に表示される。
- 完了：ジョブが正常終了した。
- 失敗：ジョブが異常終了した。
- キャンセル：ジョブがユーザーの指示でキャンセルされた。
- カートリッジ挿入待ち：カートリッジの挿入待ち。
- サスペンド：一時停止中。

ジョブグループの場合

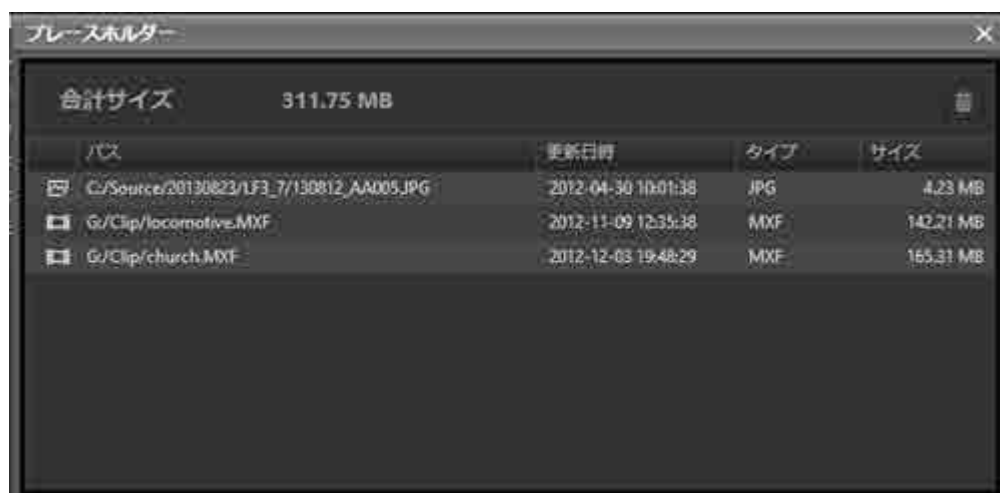
- ウェイティング：リクエストを受け付けてからジョブが投入されるまで。
- カートリッジ挿入待ち：グループ内のすべてのジョブがカートリッジ挿入待ちの状態になっている。
- 実行中：グループ内に登録済み / スタンバイ / 実行中 / キャッシング / カートリッジ挿入待ちのジョブが含まれている。
- 部分完了：グループ内に完了 / 失敗 / キャンセルのジョブが混在している。
- 完了：グループ内のすべてのジョブが、完了の状態になっている。
- 失敗：グループ内のすべてのジョブが、キャンセルまたは失敗の状態。
- キャンセル：グループ内のすべてのジョブがキャンセル状態。
- サスペンド：完了 / キャンセル / 失敗 / サスペンドのジョブが含まれている。
- 監視中：フォルダーを監視中。
- 進捗度：アーカイブまたはリトリーブの進捗状況
- ユーザー：ジョブを登録したユーザー ID
- 作成日時：ジョブを作成した（リクエストした）時刻
- 開始日時：ジョブの開始時刻
- 終了日時：ジョブの終了時刻

プレースホルダーダイアログ

プレースホルダーは、アーカイブ時にアーカイブするファイル / フォルダーを一時的に保持する仮想フォルダーです。プレースホルダーを使うことで、異なるフォルダーにあるファイルまたはフォルダーを一括でアーカイブできます。

プレースホルダーにファイルを入れるには、デスクトップエリアからドラッグ & ドロップします。

プレースホルダーに入れたファイルをアーカイブするには、プレースホルダーのファイルを選択してドラッグ & ドロップします。



合計サイズ

プレースホルダーにあるファイルの総容量を表示します。



ボタン

プレースホルダーで選択したファイルまたはフォルダーをプレースホルダーから削除します。

ファイルリスト

プレースホルダーにあるファイルのリストを表示します。リストには、次の内容を表示します。

- パス：ファイル / フォルダーのフルパス
- 更新日時：最終更新日時
- タイプ：ファイルの拡張子
- サイズ：ファイルのサイズ

閲覧画面

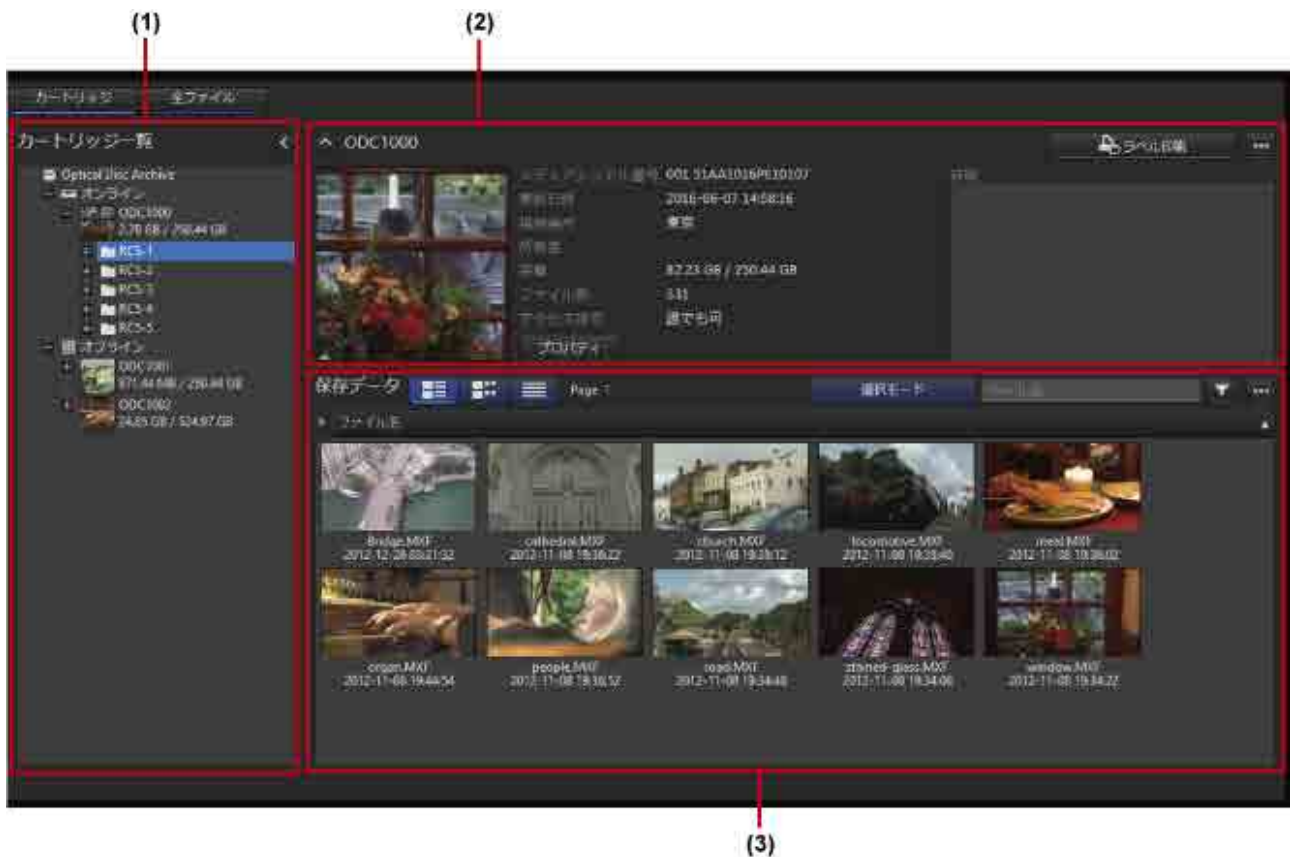
アーカイブしたファイルの一覧を表示します。閲覧画面は、カートリッジごとに保存されているファイルを表示する（**カートリッジ表示**）ことも、データベースに登録されているすべてのファイルを一覧で表示する（**全ファイル表示**）こともできます。表示は、[カートリッジ] ボタンと [全ファイル] ボタンで切り替えます。

カートリッジ / 全ファイルボタン



カートリッジ表示の場合

[カートリッジ] ボタンを選択すると、画面の左にカートリッジとカートリッジ内のフォルダー、右上に選択したカートリッジの情報（代表画、メタデータ）、右下に選択したカートリッジ内のファイル一覧を表示します。



(1) ツリーエリア

データベースに登録されているカートリッジとカートリッジ内のフォルダーをツリー表示します。オンラインフォルダーとオフラインフォルダーが表示され、その下にカートリッジが表示されます。


オンラインフォルダーには、ドライブに挿入されているカートリッジが表示されます。

オフラインフォルダーには、管理棚に保存されているカートリッジなど、ドライブに挿入されていないカートリッジが表示されます。

ツリー表示のフォルダーをクリックすると、そのフォルダー以下の表示が最新の状態に更新されます。

(2) カートリッジ情報エリア

ツリーエリアで選択したカートリッジの代表画とメタデータを表示します。

- [プロパティ] ボタンをクリックすると、[カートリッジの詳細情報] ダイアログが表示され、カートリッジの詳細情報を表示します。このダイアログで、カートリッジの名称を変更できます。
- [ラベル印刷] ボタンをクリックすると、[ラベル印刷] ダイアログが表示され、カートリッジのラベルを印刷できます。
-  をクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。コンテキストメニューには、次のメニューがあります。
 - メタデータ編集：選択したカートリッジのメタデータを編集します。
 - ファイルリスト出力：選択したカートリッジのファイル一覧を出力します。
 - メタデータ書き出し：選択したカートリッジ内のファイルやフォルダーのメタデータをカートリッジに書き出します。
 - メタデータ JSON 出力：ツリーエリアまたはカートリッジエリアで選択しているカートリッジ内の全ファイルのメタデータを JSON データで出力します。

ご注意

次の順序で操作してください。

1. Content Manager のサービスを終了する。
 2. Optical Disc Archive Filer を使ってカートリッジの全データをコピーする。
 3. Content Manager のサービスを起動する。
 4. [メタデータ JSON 出力] を実行し、[出力先フォルダー] に 2. で全データをコピーしたフォルダーを選択する。
- 削除：選択したカートリッジの情報を削除します。

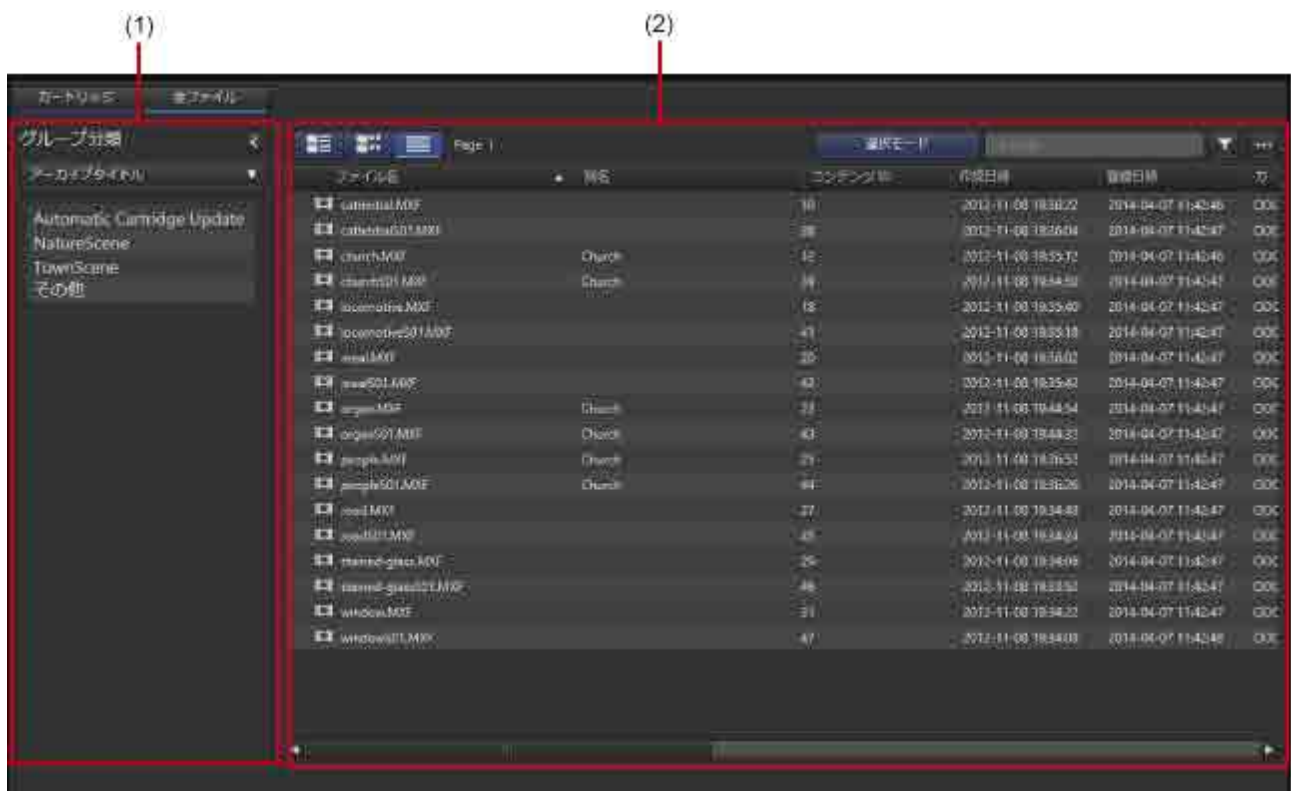
(3) ファイル表示エリア

選択したカートリッジまたはフォルダーに保存されているファイルの一覧を表示します。

ファイル表示エリアのツールバーおよびファイル一覧については、「各画面に共通する項目」をご覧ください。

全ファイル表示の場合

[全ファイル] ボタンを選択すると、登録されているカートリッジに保存されている全ファイルを表示します。画面左側の [グループ分類] でメタデータの項目を選択すると、メタデータの値によってファイルをグループ分けでき、ファイルを探しやすくなります。



(1) グループ分類

リストボックスでメタデータ項目を選択します。選択した項目によって、ファイルをいくつかのグループに分類します。リストボックスの下に表示されるグループ名をクリックすると、ファイル一覧で該当するファイルが表示されます。

リストボックスには、ファイル名、作成日時などの標準的なメタデータ項目に加えて、設定画面の「メタデータ」ページで「プライマリー」に設定したメタデータが表示されます。

(2) ファイル表示エリア

登録されているファイルを表示します。「グループ分類」を使用すると、ファイルをグループ分けして表示します。

ファイル表示エリアのツールバーおよびファイル一覧については、「各画面に共通する項目」をご覧ください。

検索画面

メタデータのテキストや日付、登録した顔画像などでファイルを検索することができます。



検索キー

検索キーを指定します。検索キーは複数指定することができます。

- テキスト

ファイル名、メタデータ、音声書き起こしのテキスト、またはそれらすべてを対象にして検索します。テキストを入力し、検索対象をドロップダウンリストから選びます。

音声書き起こしのテキストから検索する場合は、アーカイブ時に「音声での検索を可能にする」をチェックする必要があります。

- 日付

作成日または登録日の期間を指定して、検索します。

- 人物

事前に顔画像を登録し、登録された人物が映っている映像を検索します。人物を検索する場合は、映像のアーカイブ時に「顔による検索を可能にする」をチェックする必要があります。

検索する人物の顔画像の登録は、「顔登録」ダイアログで行います。

ご注意

音声書き起こしテキストの検索および人物検索は、データの品質や録画状態によって、検索精度が異なります。

検索結果

検索結果を表示します。人物検索を行った場合は、適合度順に表示されます。

表示されているファイルをクリックして「ファイルの詳細」ダイアログを表示した場合、音声書き起こし検索や人物検索で検索したときは、検出された位置を示すメタデータマークがスライダーに表示されます。

ツールバーおよびファイル一覧については、「各画面に共通する項目」をご覧ください。

設定画面

本セクションでは、本ソフトウェアの設定を行うための画面について、各部の機能と働きを説明しています。

- 個人設定ページ
- メタデータページ
- ユーザーとグループページ
- アーカイブページ
- メンテナンスページ
- 通知ページ

個人設定ページ

本ソフトウェアの表示に関する設定およびログインユーザーのアカウント設定を行います。

各項目の設定を変更した場合は、必ず「保存」ボタンをクリックしてください。

このページで設定した内容は、ユーザーごとに保存されます。

表示言語

本ソフトウェアの表示言語を選択します。

表示するファイル

閲覧画面および検索画面のファイル一覧に表示するファイルの種類を選択します。[選択された種類] を選択した場合は、下のリストで表示するファイル種別をチェックします。

パスワードを変更する

ログインユーザーのパスワードを変更します。

メール設定を変更する

アーカイブ / リトリブの完了または失敗、および管理者によるパスワード更新の通知を受け取る場合に、[メール通知を受け取る] をチェックして、通知を受け取るメールアドレスを入力します。

なお、メール通知を使用するには、設定画面の [通知] ページでメールの設定が必要です。





メタデータページ

メタデータを [ファイルの詳細] ダイアログの [ファイルメタデータ] の [プライマリー] / [セカンダリー] タブのどちらに表示するかを設定します。[プライマリー] に登録したユーザーメタデータ項目は、閲覧画面で全ファイル表示をした場合に、グループ分類の項目として選択できます。

このページは、管理者権限を持つユーザーのみ表示できます。



システムに最初から定義されているメタデータ、およびユーザーが定義したメタデータの表示設定を変更できます。

[プライマリー] または [セカンダリー] ボックスで表示位置を変更したいメタデータ項目を選択し、  ボタンでメタデータをもう一方のボックスへ移動します。また、[プライマリー] ボックスでメタデータ項目を選択し、  ボタンでメタデータの表示順を変更します。[セカンダリー] ボックスのメタデータの表示順は変更できません。設定が完了したら、[保存] ボタンをクリックします。

このページで、メタデータ項目を追加することはできません。

ユーザーとグループページ

本ソフトウェアを使用するユーザーとグループを設定します。
このページは、管理者権限を持つユーザーのみ表示できます。

ユーザーとグループ

このページでは、ユーザーアカウント、および、グループに関する設定が行えます。

ユーザーリスト

ユーザーID	権限	フルネーム	最終ログイン日
Admin	管理者		2013-08-29 12:24:49
Administrator	管理者		

追加

編集

削除

グループリスト

グループ名	グループメンバー
ABgroup	Admin, Administrator
administrators	

追加

編集

削除

ユーザーリスト

ユーザーの一覧を表示します。ユーザーID、権限、フルネーム、最終ログイン日を表示します。

ユーザーを追加するには

1. [追加] ボタンをクリックする。
2. [アカウントを新規追加] ダイアログで、新規ユーザーのユーザー ID とユーザー権限（管理者 / 一般）を設定する。メール通知を行う場合は、チェックボックスを選択し、メールアドレスを入力する。
メール通知の設定を行うと、アーカイブ / リトリブの完了、新規パスワードの通知などのメールが送信されます。
3. [OK] ボタンをクリックする。
ユーザーアカウントが新規に作成され、ユーザーのパスワードが自動生成されます。メール通知の設定を行った場合は、自動生成されたパスワードがメールで通知されます。メール通知の設定を行わなかった場合は、パスワードを表示するダイアログが表示されます。

ユーザー情報を編集するには

1. ユーザーを選択して、[編集] ボタンをクリックする。
2. [アカウントを編集] ダイアログで、ユーザー権限（管理者 / 一般）を選択する。
3. パスワードを変更する場合は、[新しいパスワードを発行する] をチェックする。
4. [OK] ボタンをクリックする。
編集した内容が反映されます。[新しいパスワードを発行する] をチェックした場合は、新しいログインパスワードが自動的に生成されます。メール通知の設定がされている場合は、設定したメールアドレスにパスワードを記載したメールが送信されます。メール通知の設定がされていない場合は、パスワードを表示するダイアログが表示されます。

ご注意

ログイン中のユーザーのユーザー情報は変更できません。

ユーザーを削除するには

ユーザーを選択して、[削除] ボタンをクリックします。

グループリスト

グループと所属ユーザーの一覧を表示します。

グループを追加するには

1. [追加] ボタンをクリックする。
2. [グループを新規追加] ダイアログでグループ名を入力し、 \leftrightarrow ボタンを使ってグループに所属するユーザーを [グループメンバー] に移動する。
3. [OK] ボタンをクリックする。
新しいグループが作成されます。

グループに登録するユーザーを変更するには

1. グループを選択して、[編集] ボタンをクリックする。
2. [グループの設定を編集] ダイアログで、 \leftrightarrow ボタンを使ってグループに登録するユーザーを設定する。
3. [OK] ボタンをクリックする。
編集した内容が反映されます。

グループを削除するには

グループを選択して、[削除] ボタンをクリックします。

アーカイブページ

アーカイブについての設定を行います。

このページは、管理者権限を持つユーザーのみ表示できます。

ご注意

アーカイブ、リトリブなどのジョブが実行中の場合、[監視フォルダー] と [カートリッジ名] 以外の設定は変更できません。

MD5 チェックサムを有効にする

チェックすると、アーカイブおよびリトリブの後に MD5 チェックサムでデータの確認を行います。

ご注意

Optical Disc Archive Utility でベリファイを行う設定にしている場合、MD5 チェックサムを有効にすると、アーカイブ時のチェックが二重に行われ、アーカイブ時間が長くなります。Optical Disc Archive Utility のベリファイ設定と、本ソフトウェアの MD5 チェックサムが両方とも有効になっている場合、または両方とも無効になっている場合は、確認メッセージが表示されます。必要に応じて、どちらかの設定を変更してください。

Disc spanning を制限する

チェックすると、アーカイブするファイルがカートリッジ内の複数のディスクにまたがって保存されることが少なくなるように制御します。

リトリブ後に厳密なファイル比較を行う

チェックすると、リトリブでファイルをコピーした後に、ファイルサイズおよび MD5 チェックサム（アーカイブ時に「MD5 チェックサムを有効にする」を選択している場合）の比較を行い、リトリブ元のファイルと同一かどうかを確認します。

ご注意

ファイルをコピーするとフォーマットが自動的に変換されることがある場合は、チェックを外してください。

キャッシュ

アーカイブ時やメタデータの抽出時に使用するキャッシュの設定を行います。

キャッシュフォルダー

キャッシュとして使用するフォルダーを設定します。ローカルコンピュータの HDD を選択してください。

アーカイブの際にファイルを一時的にコピーする

アーカイブ時にキャッシュを使用するかどうかを設定します。

ご注意

- プロフェッショナルディスクまたはネットワークドライブからファイルをアーカイブする際にメタデータを抽出する場合は、この項目にチェックを入れてください。
- カートリッジ上のファイルのメタデータを抽出する際は、メタデータを抽出するファイルの合計サイズ以上の空き容量がハードディスクドライブに必要です。

メタデータ

メタデータを保存するフォルダーを設定します。

監視フォルダー

ファイルが新しく作成されたときに自動的にアーカイブを行う、監視フォルダーを設定します。

詳しくは、「フォルダーを監視してアーカイブする」をご覧ください。

ご注意

- 監視フォルダーに保存したファイルは、アーカイブ後自動的に削除されます。ただし、監視フォルダーに作成されたフォルダーは自動では削除されませんので、必要に応じて Explorer などを使って削除してください。
- 読み取り専用ファイルは、監視フォルダー機能ではアーカイブされません。
- 書き込むファイルのサイズの総量がカートリッジ1巻の容量を超えた場合、アーカイブは自動的に停止します。

カートリッジ名

新しいカートリッジが登録されたときにカートリッジの名称の先頭に付ける文字列を指定します。カートリッジの名称は、「指定した文字列＋連番」になります。

メンテナンスページ

本ソフトウェアのメンテナンスについての設定を行います。
このページは、管理者権限を持つユーザーのみ表示できます。

メンテナンス このページでは、データベースの保守に関する設定を行います。

サービスの終了と起動

終了 起動

状態 日数更新

サービスリクエスト状態	システム状態	実行待ちと実行中のジョブ	実行中のジョブ
リクエストなし	動作中	0	0

データベースのバックアップと復元

バックアップスケジュール 日数更新

開始日時	曜日	出力フォルダ	保存ファイルの最大数
00:00:00	月火水木金	C:\ProgramData\Sony\Content Manager\CBBackup	2

バックアップの最終日時 出力ファイル メッセージ

2013-02-13 00:00:10 ContentManager Version 2.4 (2.4.0.251) 20130213000010.clg

データベースの復元

バックアップファイル

データベースのインポート/エクスポート

インポート エクスポート

完了ジョブの履歴

開始日時 (曜日)	クリーンアップ回数 (月日前まで)	クリーンアップの最終日時
00:00:00	5	2013-02-11 00:00:00

ログ取得

開始日*

終了日*

サービスの終了と起動

本ソフトウェアのサービスを終了または起動します。

【終了】（【起動】） ボタン

サービスが終了しているときは「起動」ボタンに変わります。

サービスを終了するときは、[状態] の [システム状態] 欄に「動作中」と表示されていることを確認して、[終了] ボタンをクリックします。

サービスを起動するときは、[状態] の [システム状態] 欄に「スタンバイ」と表示されていることを確認して、[起動] ボタンをクリックします。

サービスの終了 / 起動をキャンセルするには、[キャンセル] ボタンをクリックします。

ご注意

Optical Disc Archive Filer が起動している場合は、本ソフトウェアのサービスを起動できません。

状態

サービスの状態を表示します。

- サービスリクエスト状態：サービスに対するリクエストの状況を表示します。
- システム状態：システムの実行状態を表示します。
 - 動作中：正常動作中
 - スタンバイ：スタンバイ中
 - 失敗：エラーが発生していて、動作していない
 - 準備中：動作していない
- 実行待ちと実行中のジョブ：キューに登録されているジョブと実行中のジョブの数を表示します。
- 実行中のジョブ：実行中のジョブの数を表示します。

データベースのバックアップと復元

データベースのバックアップと復元を行います。

バックアップの実行方法は、スケジュールを指定した定期的なバックアップと、[マニュアルバックアップ] ボタンをクリックしての即時バックアップがあります。

復元を行うと、バックアップした時点の状態にデータベースを戻すことができます。

バックアップスケジュール

設定済みのバックアップスケジュールを表示します。

バックアップのスケジュールを設定するには

1. [設定] ボタンをクリックする。
[バックアップスケジュールの設定] ダイアログが表示されます。
2. ダイアログでスケジュールを設定し、[OK] ボタンをクリックする。
 - 開始時間：バックアップを開始する時刻を指定します。
 - 曜日：バックアップを行う曜日を指定します（複数選択可）。
 - 出力フォルダー：出力フォルダーを選択します。
 - 保存ファイルの最大数：過去のバックアップファイルを最大いくつまで保存しておくかを指定します。

スケジュールを削除するには、[削除] ボタンをクリックします。

ご注意

バックアップスケジュールを設定する場合は、出力フォルダーに共有ボリュームおよびネットワークドライブを選択できません。

バックアップ状態表示

前回実行したバックアップについて次の情報を表示します。

- バックアップの最終日時
- 出力ファイル
- メッセージ

[マニュアルバックアップ] ボタン

バックアップを即時実行します。

クリックすると、バックアップ先のフォルダーを指定するダイアログが表示されます。バックアップスケジュールでバックアップしたファイルとは別のフォルダーを指定すると、バックアップが自動で削除されることがあります。

データベースの復元

- バックアップファイル
- メッセージ

【復元】 ボタン

復元を実行します。[復元] ダイアログで、バックアップファイルを選択します。

データベースのインポート / エクスポート

データベースをインポート / エクスポートします。エクスポートしたデータベースを他の Content Manager にインポートすることにより、データベースを統合できます。

エクスポートは、すべてのカートリッジのデータベースのエクスポート、または1つのカートリッジのデータベースのみのエクスポートが実行できます。

完了ジョブの削除

処理が完了したジョブは、完了から一定期間後に自動的に削除されます。

- 開始時間：完了ジョブを削除する日時を表示します。
- クリーンアップ期間：ジョブの完了から削除までの日数を表示します。
- クリーンアップの最終日時：前回完了ジョブを削除した日時を表示します。

完了ジョブ削除のスケジュールを設定するには、[設定] ボタンをクリックして、ダイアログを表示します。

ログ取得

Content Manager のログをコンピューターに保存します。

保存するログの開始日と終了日を指定して、[出力] ボタンをクリックします。

通知ページ

通知メールを送信するための設定を行います。

このページは、管理者権限を持つユーザーのみ表示できます。

メール通知の設定をすると、[個人設定] ページまたは [ユーザーとグループ] ページでメール通知の設定をしたユーザーに、次の通知メールが送られます。

- アーカイブ / リトリブ完了の通知
- アーカイブ / リトリブ失敗の通知
- 新規アカウント作成時 / パスワード変更時の新規パスワード通知
- パスワードの再発行通知

通知

このページでは、メール通知に関する設定が行えます。

設定例を入力する

ポート番号

SMTP サーバー

☐ セキュリティで保護された接続が必要

☐ SMTP 認証を行う

アカウント

パスワード

送信メールアドレス

保存

下記の項目を設定します。

- ポート番号
- SMTP サーバー
- セキュリティで保護された接続が必要：チェックした場合は、保護のタイプを選択する。
- SMTP 認証を行う
- アカウント：メールサーバーのアカウントを入力する。
- パスワード：メールサーバーのパスワードを入力する。
- 送信メールアドレス：通知メールの送信元となるメールアドレスを入力する。

[設定例を入力する] ボタンをクリックすると、例として Gmail の設定値が入力されます。設定の参考にしてください。

操作手順

本セクションでは、本ソフトウェアの各機能の操作方法を説明しています。

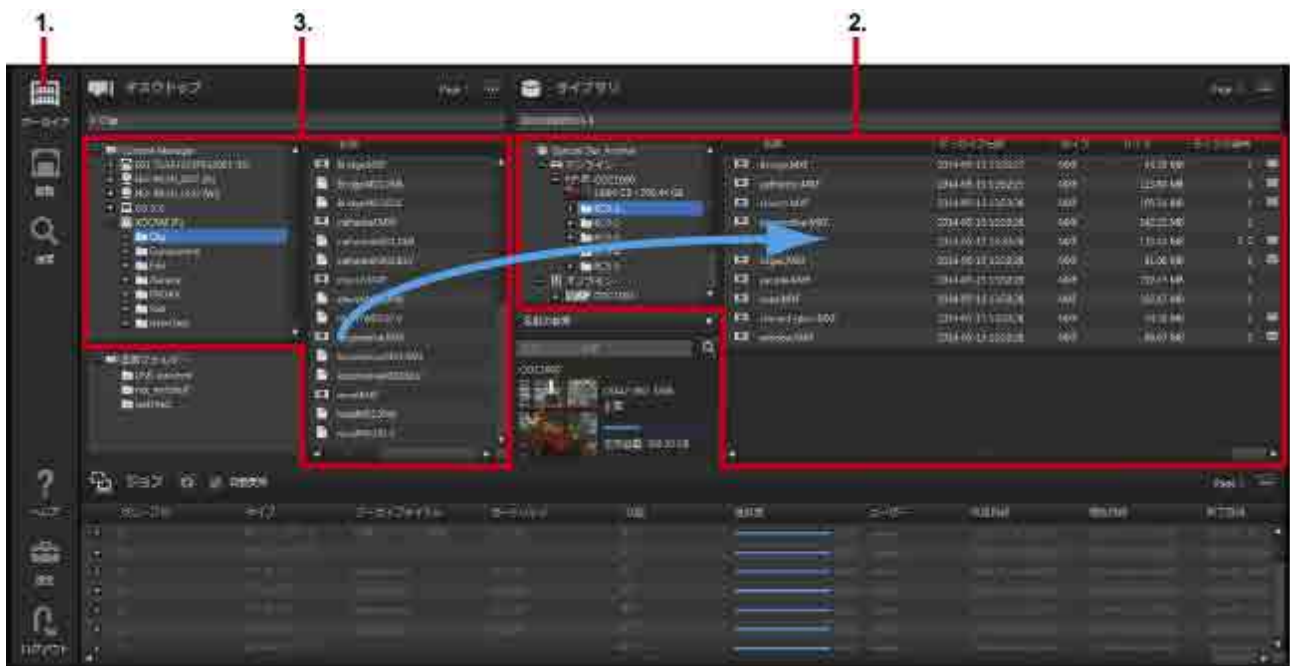
- アーカイブする
 - ドラッグ&ドロップでアーカイブする
 - フォルダーを監視してアーカイブする
 - Content Browser からアーカイブする
- メタデータを編集する
 - カートリッジのメタデータを表示 / 編集する
 - ファイルのメタデータを表示 / 編集する
 - アーカイブ済みファイルのメタデータを抽出する
- リトリートする
 - ドラッグ&ドロップでリトリートする
 - 検索画面、閲覧画面またはファイルの詳細ダイアログからリトリートする
- ファイルを検索する
- 顔データを登録する
- ラベルを印刷する
- ファイルの一覧を出力する
- カートリッジにメタデータを書き出す
- カートリッジの情報を削除する
- カートリッジ内のファイル／フォルダーを削除する
- データベースを更新する

アーカイブする

- ドラッグ&ドロップでアーカイブする
- フォルダーを監視してアーカイブする
- Content Browser からアーカイブする

ドラッグ&ドロップでアーカイブする

メディアまたはフォルダーを一括してアーカイブする



1. グローバルメニューでアーカイブアイコンをクリックする。
2. アーカイブ画面のライブラリエリアで、ファイル/フォルダーを格納するカートリッジを表示させる。カートリッジのサブフォルダーにファイル/フォルダーを格納する場合は、サブフォルダーを表示させる。オフラインのカートリッジにもアーカイブをリクエストできます。アーカイブ実行時にカートリッジがオフラインの場合は、グローバルメニューに⚠マークが表示され、マウスオーバーでカートリッジが挿入されていないことを通知するツールチップが表示されるので、カートリッジを挿入してください。アーカイブするファイル/フォルダーは、ライブラリエリアの次の場所にドラッグ&ドロップすることができます。
 - ツリーエリアのカートリッジまたはフォルダー
 - リストエリア

ご注意

次の場合は、アーカイブができません。アーカイブのリクエスト時に下記の状態になっている場合は、警告メッセージが表示され、ジョブが登録されません。

- カートリッジの状態が、正常以外の場合
- アーカイブによってカートリッジの総容量を超える可能性がある場合
- 一度にアーカイブするファイル/フォルダーの数がカートリッジの最大ファイル数¹⁾より多い場合
- カートリッジ内のファイル/フォルダーの総数がカートリッジの最大ファイル数¹⁾を超える可能性がある場合
- キャッシュを使用する設定のときに、キャッシュフォルダーへコピーすることで、キャッシュフォルダーのドライブの総容量を超える可能性がある場合
- [ローカルディスクにもコピーする]をチェックしているときに、ローカルディスクへコピーすることで、コピー先のドライブの総容量を超える可能性がある場合

1) 最大ファイル数については、Optical Disc Archive Utility のヘルプをご覧ください。

3. デスクトップエリアで、アーカイブするファイルまたはフォルダーを選択する。

デスクトップエリアの次の場所を選択して、ドラッグ&ドロップすることができます。

- ツリーエリアのプロフェッショナルディスク、SxS メモリーカード、またはフォルダー
- リストエリアのファイルまたはフォルダー

異なるメディアやフォルダーにあるファイル / フォルダーを一括でアーカイブする場合は、次の「異なるメディアやフォルダーにあるファイルをアーカイブする」をご覧ください。

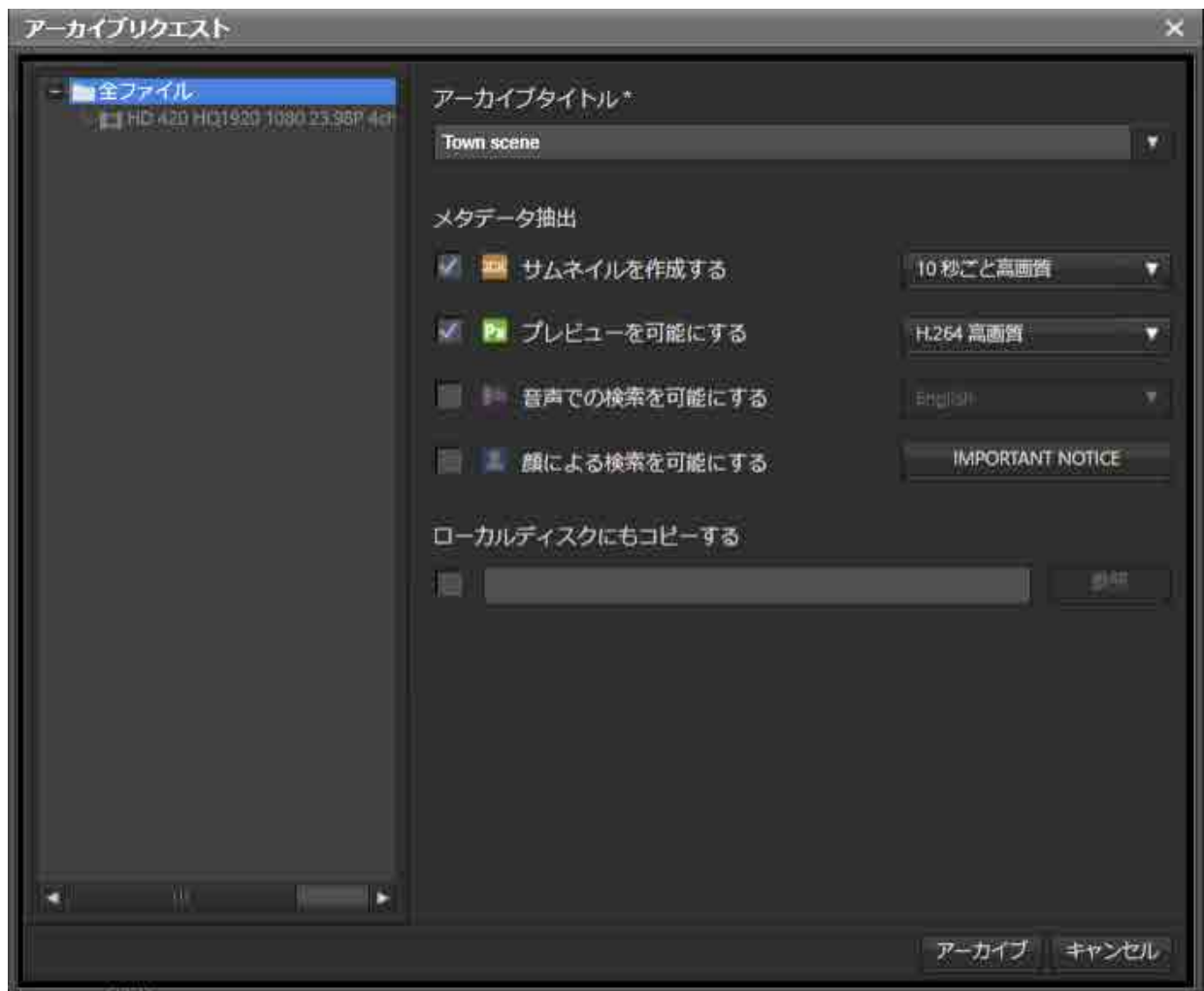
ご注意

ツリーエリアまたはリストエリアでカートリッジや HDD のドライブを選択した場合は、アーカイブできません。プロフェッショナルディスクおよび SxS メモリーカードのドライブは、アーカイブできます。

4. 選択したファイルまたはフォルダーを、格納先のカートリッジまたはフォルダーにドラッグ & ドロップする。

[アーカイブリクエスト]ダイアログが表示されます。ダイアログ左側のツリーエリアに、ドラッグ&ドロップしたファイル / フォルダーが表示されます。

プロフェッショナルディスクまたはネットワークドライブからアーカイブする際に、設定画面のアーカイブページでキャッシュを使用しない設定がされている場合は、キャッシュを使用するかどうかを確認するメッセージが表示されます。メタデータを抽出したい場合は、[はい] を選択してください。



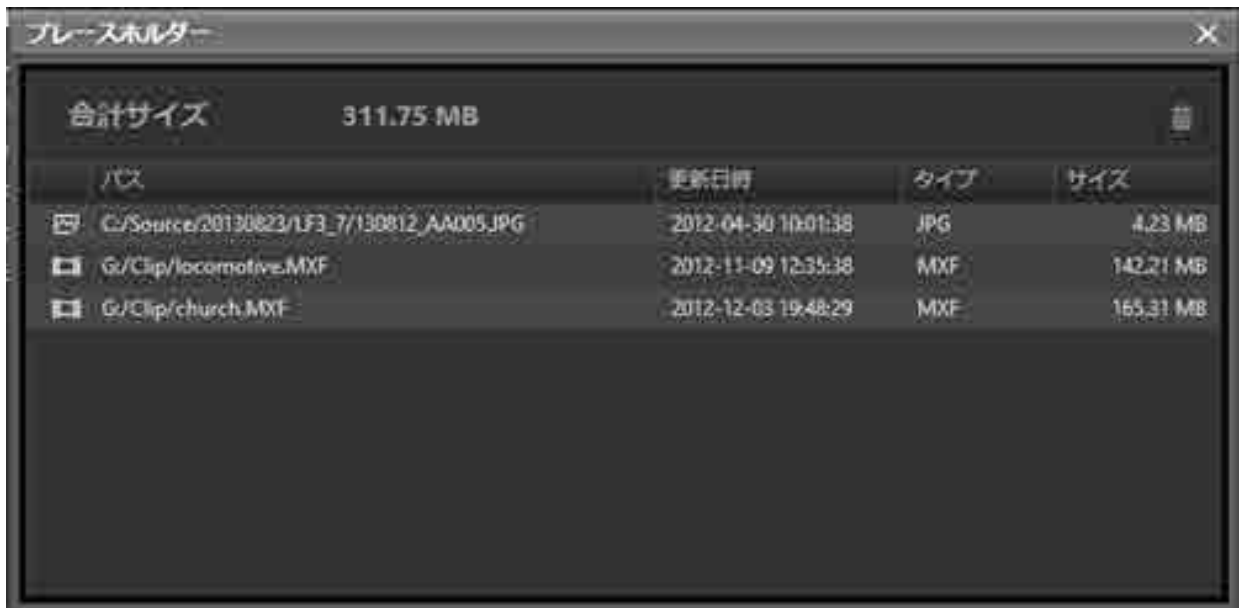
5. アーカイブタイトルを入力し、[メタデータ抽出] で抽出するメタデータを選択する。
キャッシュを使用しない設定になっていて、プロフェッショナルディスクまたはネットワークドライブからアーカイブする場合は、メタデータを選択できません。
 - サムネイルを作成する：
一定間隔でサムネイルを作成します。サムネイルを作成する間隔と画質をリストボックスで選択できます。
 - プレビューを可能にする：
プレビュー用のプロキシファイルを作成します。プロキシファイルのフォーマットと画質をリストボックスで選択できます。
 - 音声での検索を可能にする：
ファイル内の音声をテキスト情報として書き出します。これによって、テキスト情報に含まれる文字列で検索できるようになります。音声の言語をリストボックスで選択できます。macOS 版ではこの項目は表示されません。
 - 顔による検索を可能にする：
動画ファイル中で人の顔が映っている箇所を抽出します。顔データを登録することで、人物の顔によって検索できるようになります。
顔検索機能を使用する前に重要事項を確認してください。重要事項は [アーカイブリクエスト] ダイアログの [IMPORTANT NOTICE] ボタンをクリックすると表示されます。
6. アーカイブするフォルダー / ファイルを、アーカイブと同時にローカルコンピューターにコピーする場合は、[ローカルディスクにもコピーする] をチェックし、コピー先を指定する。
7. [アーカイブ] ボタンをクリックする。
アーカイブのジョブがジョブエリアに登録され、実行されます。
アーカイブ先のフォルダーに同名のファイルがある場合、確認のダイアログが表示され、ファイル名の末尾に (1)、(2) を付けてアーカイブするか、アーカイブをしないかを選択できます。

異なるメディアやフォルダーにあるファイルをアーカイブする

アーカイブしたいファイルが複数のメディアやフォルダーにある場合は、[プレースホルダー] ダイアログを使用します。

1. グローバルメニューでアーカイブアイコンをクリックする。
2. アーカイブ画面のライブラリエリアで、ファイル / フォルダーを格納するカートリッジを表示させる。カートリッジのサブフォルダーにファイル / フォルダーを格納する場合は、サブフォルダーを表示させる。

3. デスクトップエリアのプルダウンメニューで「プレースホルダーを開く」を選択する。
「プレースホルダー」ダイアログが表示されます。



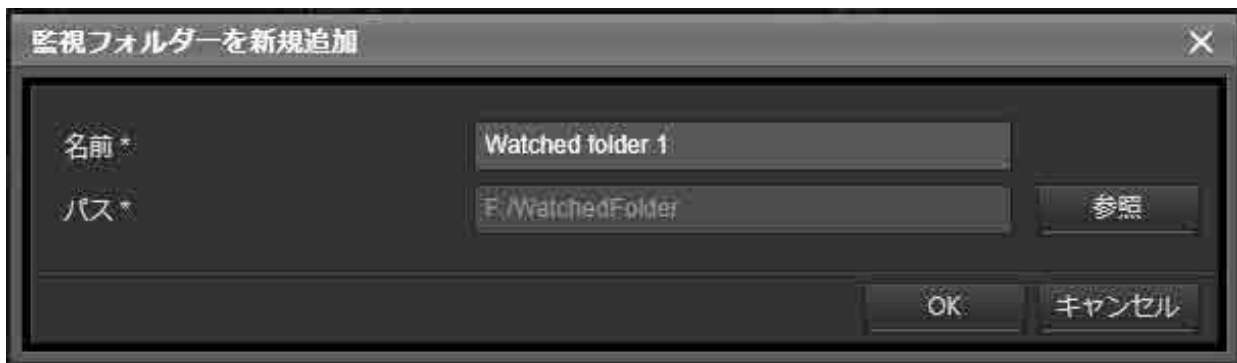
4. アーカイブしたいファイル/フォルダーを、デスクトップエリアから「プレースホルダー」ダイアログにドラッグ&ドロップする。
5. 「プレースホルダー」ダイアログ内のファイルまたはフォルダーを選択して、ライブラリエリアにドラッグ&ドロップする。
- 一部のファイルまたはフォルダーだけを選択してドラッグ&ドロップした場合は、選択したファイル/フォルダーだけがアーカイブされます。
6. 「アーカイブリクエスト」ダイアログが表示されるので、上記の手順5～7に従ってメタデータを指定し、アーカイブを実行する。

フォルダーを監視してアーカイブする

指定したフォルダーに作成されたファイルを自動的にアーカイブします。この機能によって、テープ媒体から素材をアーカイブする場合に、キャプチャーアプリケーションでキャプチャーを行い、キャプチャーが完了したファイルから自動的にアーカイブすることができます。

ご注意

- 監視フォルダーに作成されたファイルは、アーカイブが完了すると自動的に削除されます。ただし、監視フォルダーに作成されたフォルダーは自動では削除されませんので、必要に応じて Explorer などを使って削除してください。
 - 読み取り専用ファイルは、監視フォルダー機能ではアーカイブされません。
- グローバルメニューの設定アイコンをクリックする。
 - 「アーカイブ」ボタンをクリックする。
 - 「監視フォルダー」の「追加」ボタンをクリックする。
「監視フォルダーを新規追加」ダイアログが表示されます。



4. フォルダー名称を入力する。

フォルダー名称は、アーカイブ画面の監視フォルダー表示エリアに表示される名称です。


5. [パス] の [参照] ボタンをクリックし、監視フォルダーのパスを指定する。
6. グローバルメニューのアーカイブアイコンをクリックする。
7. 監視フォルダー表示エリアで監視したいフォルダーを選択し、ライブラリエリアのアーカイブ先フォルダーにドラッグ&ドロップする。

[監視アーカイブリクエスト] ダイアログが表示されます。

8. アーカイブタイトルや抽出するメタデータなどを設定する。

詳しくは、「ドラッグ&ドロップでアーカイブする」をご覧ください。

9. [監視アーカイブリクエスト] ダイアログの [開始] ボタンをクリックする。

フォルダーの監視が始まります。監視中は、監視フォルダー表示エリアのフォルダーアイコンが  に変わります。

10. 監視を終了する場合は、監視フォルダー表示エリアのツリーエリアで [監視フォルダー] を選択し、リストエリアで監視を停止したい監視フォルダーを選択したうえで、プルダウンメニューで [監視の停止] を選択します。

Content Browser からアーカイブする

Sony Content Browser からリクエストされたファイルをアーカイブします。

Content Browser は、XDCAM EX、XDCAM、NXCAM 機器などで使用されるクリップやクリップリストを操作するためのソフトウェアです。

1. Content Browser で、Content Manager を介したアーカイブの操作を行う。

Content Manager が Web ブラウザーの新規タブで起動し、[プレースホルダー] ダイアログが表示されます。Content Browser で選択したフォルダーが、[プレースホルダー] ダイアログに追加されます。

2. フォルダーをドラッグ & ドロップして、アーカイブを行う。

詳しくは「ドラッグ&ドロップでアーカイブする」をご覧ください。

ご注意

Content Manager にログインしていない場合はログイン画面が表示されます。

ログインすると [プレースホルダー] ダイアログが表示されます。

メタデータを編集する

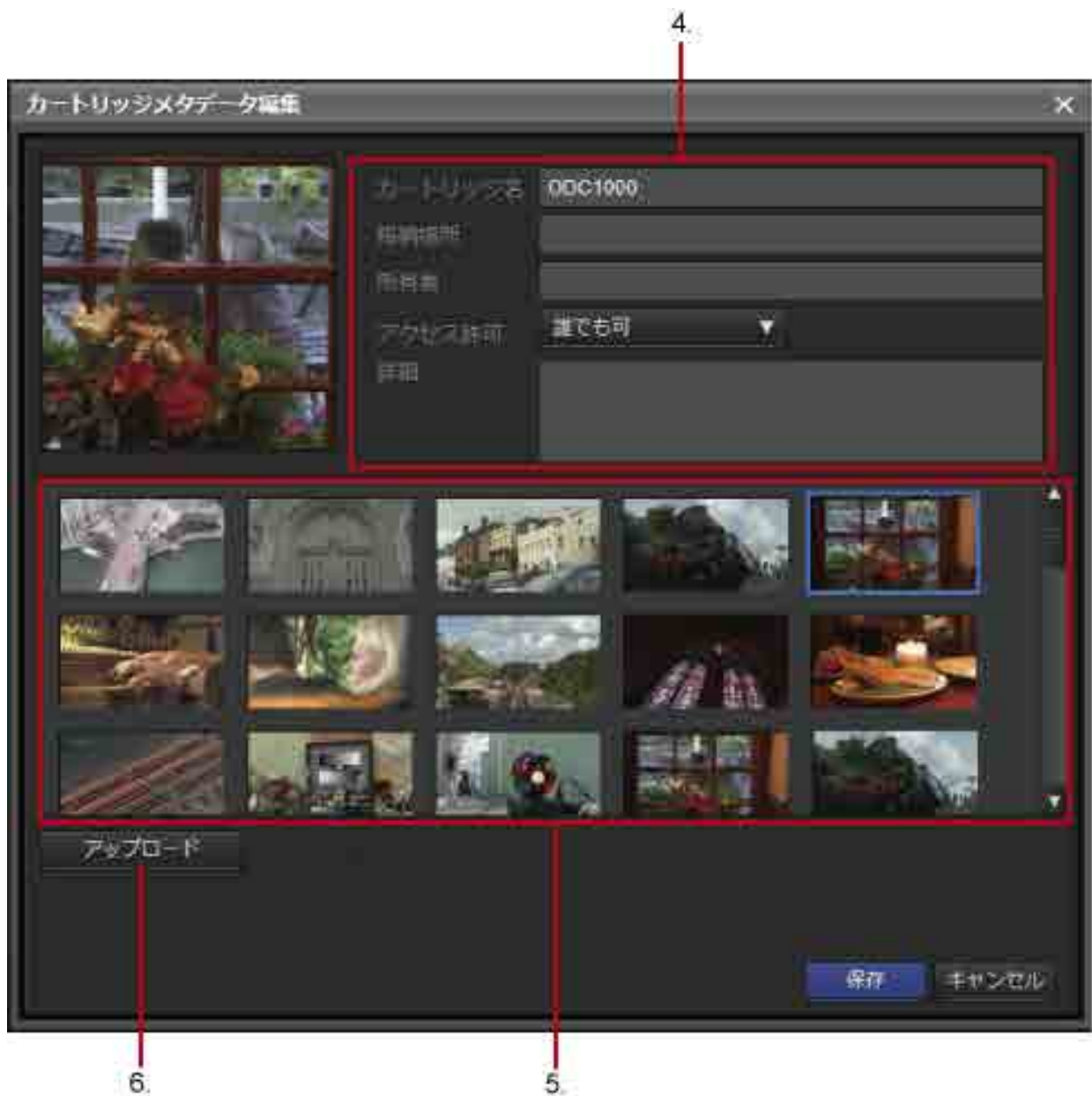
- カートリッジのメタデータを表示 / 編集する
- ファイルのメタデータを表示 / 編集する
- アーカイブ済みファイルのメタデータを抽出する

カートリッジのメタデータを表示 / 編集する

カートリッジのメタデータを表示 / 編集することができます。

1. グローバルメニューで閲覧アイコンをクリックする。
2. 閲覧画面をカートリッジ表示にして、メタデータを編集したいカートリッジを選択する。
3. カートリッジ情報エリアのプルダウンメニューで「メタデータ編集」を選択する。

「カートリッジメタデータ編集」ダイアログが表示されます。



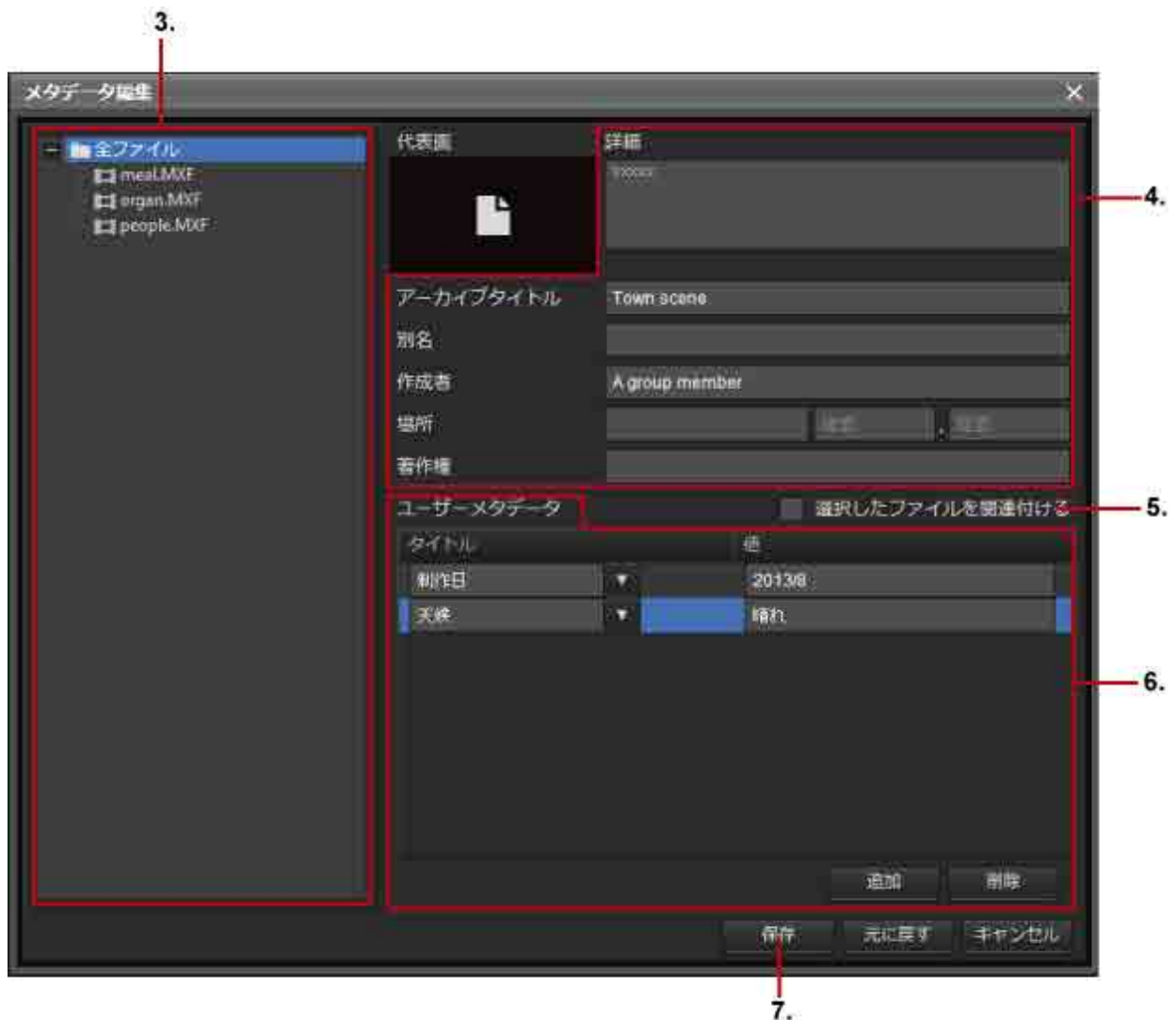
4. メタデータを編集する。

- 表示されているサムネイルから、カートリッジの代表画として設定したい画像をクリックする。
選択した画像が代表画になります。
- ローカルコンピューターにある画像を代表画とする場合は、[アップロード] ボタンをクリックして、ローカルの画像を選択し、画像をサムネイルに追加する。追加したサムネイルを選択して、代表画として設定する。
- [保存] ボタンをクリックする。
情報が保存されます。

ファイルのメタデータを表示 / 編集する

閲覧画面、検索画面、アーカイブ画面で選択したアーカイブ済みファイルのメタデータを表示することができます。また、複数のファイルのメタデータを同時に編集することができます。

- アーカイブ画面のライブラリエリア、閲覧画面、および検索画面のファイル一覧で、メタデータを編集したいファイルを選択する。
- プルダウンメニューで [メタデータ編集] を選択する。
[メタデータ編集] ダイアログが表示されます。



- すべてのファイルのメタデータを一括して編集したい場合は、[全ファイル] を選択する。
特定のファイル / フォルダのメタデータだけを編集したい場合は、[全ファイル] 以下のファイルまたはフォルダを選択する。

4. メタデータを編集する。

詳細、アーカイブタイトル、別名、作成者、場所、著作権が編集できます。

5. 選択したファイルを互いに関連付けたい場合は、[選択したファイルを関連付ける] をチェックする。

6. メタデータを追加したい場合は、[追加] ボタンをクリックして、メタデータのタイトルと値を入力する。

7. [保存] ボタンをクリックする。

編集したメタデータが保存されます。

アーカイブ済みファイルのメタデータを抽出する

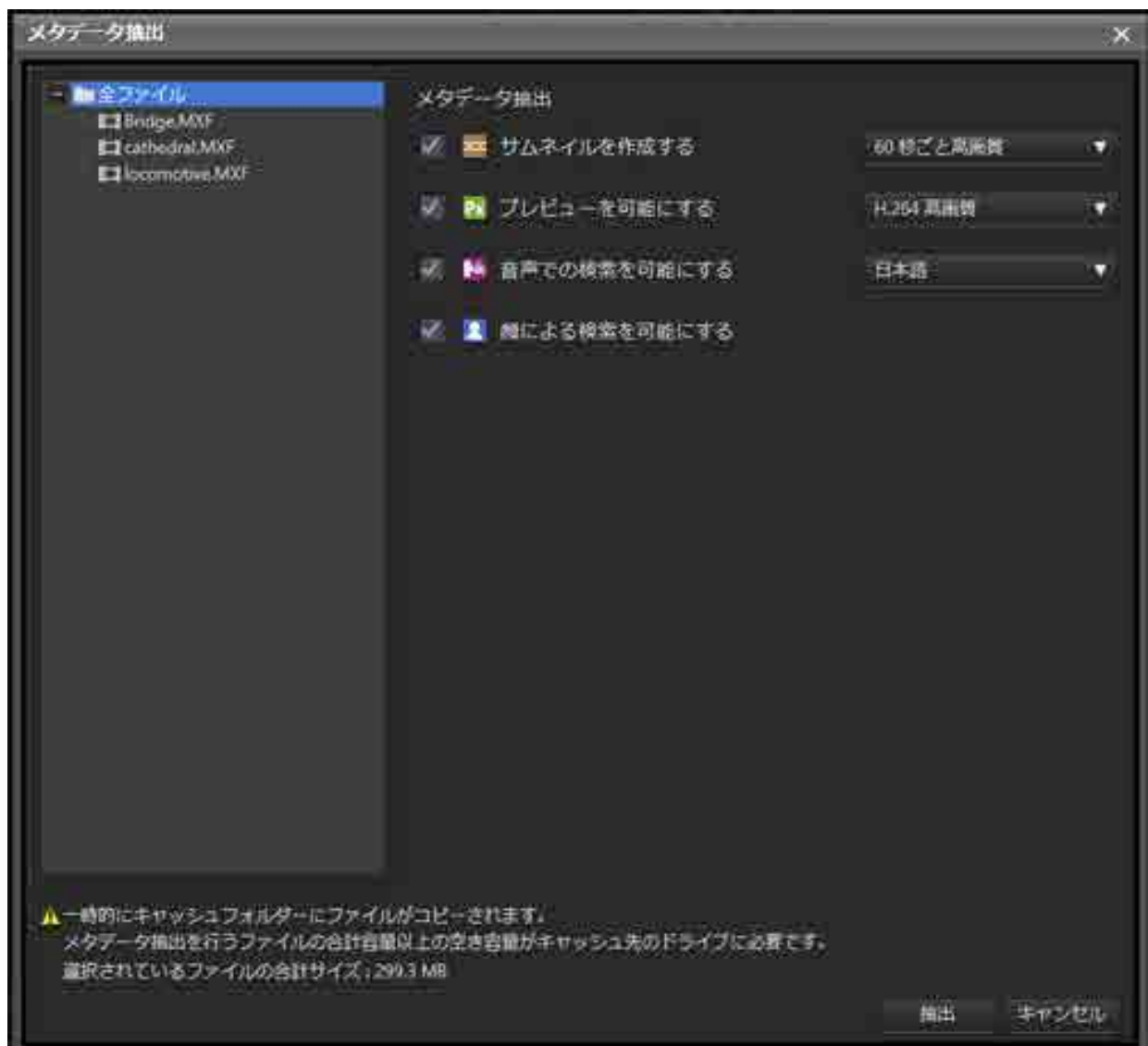
アーカイブ時にメタデータを抽出しなかった場合や、メタデータを抽出しなおしたい場合に、メタデータを抽出することができます。

1. グローバルメニューでアーカイブアイコンをクリックする。

2. アーカイブ画面のライブラリエリアでメタデータを抽出したいファイルを選択する。

3. プルダウンメニューで [メタデータ抽出] を選択する。

[メタデータ抽出] ダイアログが表示されます。



4. 抽出するメタデータを選択する。

- サムネイルを作成する：
一定間隔でサムネイルを作成します。サムネイルを作成する間隔と画質をリストボックスで選択できます。
- プレビューを可能にする：
プレビュー用のプロキシファイルを作成します。プロキシファイルのフォーマットと画質をリストボックスで選択できます。
- 音声での検索を可能にする：
ファイル内の音声をテキスト情報として書き出します。これによって、テキスト情報に含まれる文字列で検索できるようになります。音声の言語をリストボックスで選択できます。macOS 版ではこの項目は表示されません。
- 顔による検索を可能にする：
動画ファイル中で人の顔が映っている箇所を抽出します。顔データを登録することで、人物の顔によって検索できるようになります。

5. [抽出] ボタンをクリックする。

メタデータが抽出され、Content Manager のデータベースに登録されます。

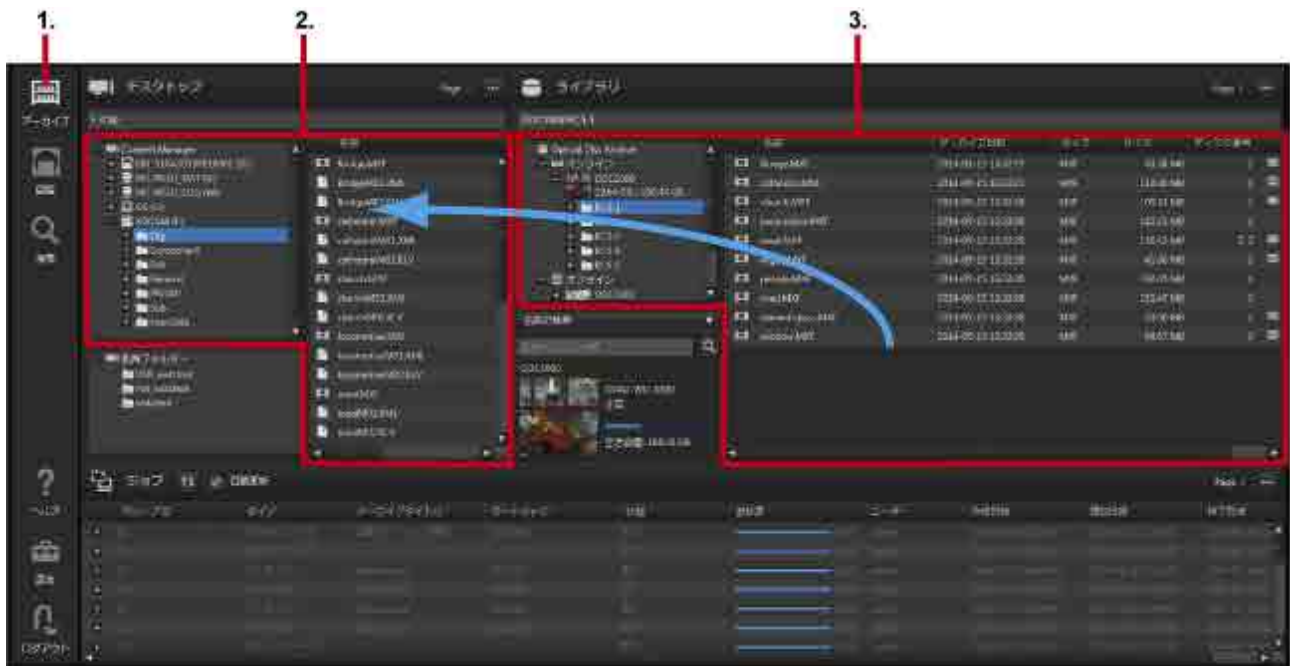
ご注意

メタデータを抽出する際は、設定画面の [アーカイブ] ページで設定したキャッシュフォルダーを使用します。そのため、メタデータ抽出時には、キャッシュフォルダーのあるドライブの空き容量が、メタデータを抽出するファイルの合計容量以上であることが必要です。キャッシュ先のストレージの空き容量が不足しているというエラーメッセージが表示された場合は、キャッシュフォルダーのあるドライブの不要データを削除するか、[アーカイブ] ページの [キャッシュフォルダー] に空き容量が多い別のドライブのフォルダーを設定してください。

リトリートする

- ドラッグ&ドロップでリトリートする
- 検索画面、閲覧画面またはファイルの詳細ダイアログからリトリートする

ドラッグ&ドロップでリトリブする



1. グローバルメニューでアーカイブアイコンをクリックする。
2. デスクトップエリアで、リトリブしたファイルを保存するフォルダーを表示させる。
リトリブするファイルは、デスクトップエリアの次の場所にドラッグ&ドロップすることができます。
 - ツリーエリアのメディアまたはフォルダー
 - リストエリア
3. ライブラリエリアで、リトリブするカートリッジまたはカートリッジに格納されているファイルを選択する。
カートリッジは、1つだけ選択できます。
オフラインのカートリッジからのリトリブをリクエストすることもできます。リトリブ実行時にカートリッジがオフラインの場合は、グローバルメニューに⚠が表示され、マウスオーバーでカートリッジが挿入されていないことを通知するツールチップが表示されるので、カートリッジを挿入してください。
ライブラリエリアの次の場所を選択してドラッグ&ドロップすることができます。
 - ツリーエリアのカートリッジまたはフォルダー
 - リストエリアのファイルまたはフォルダー

ご注意

カートリッジの状態が、正常、読み取り専用以外の場合は、リトリブができません。

4. 選択したカートリッジまたはファイルを、保存先のフォルダーにドラッグ&ドロップする。
リトリブ先のフォルダーに同名のファイルがある場合、確認のダイアログが表示され、ファイル名の末尾に (1)、(2) を付けてリトリブするか、リトリブをしないかを選択できます。
5. 他のジョブより優先してリトリブを実行したい場合は、[確認] ダイアログで [優先して実行する] をチェックする。
チェックすると、他の実行中または実行待ちのジョブより優先してリトリブジョブが実行されます。
6. [はい] をクリックする。
リトリブのジョブがジョブエリアに登録され、実行されます。

検索画面、閲覧画面またはファイルの詳細ダイアログからリトリートする

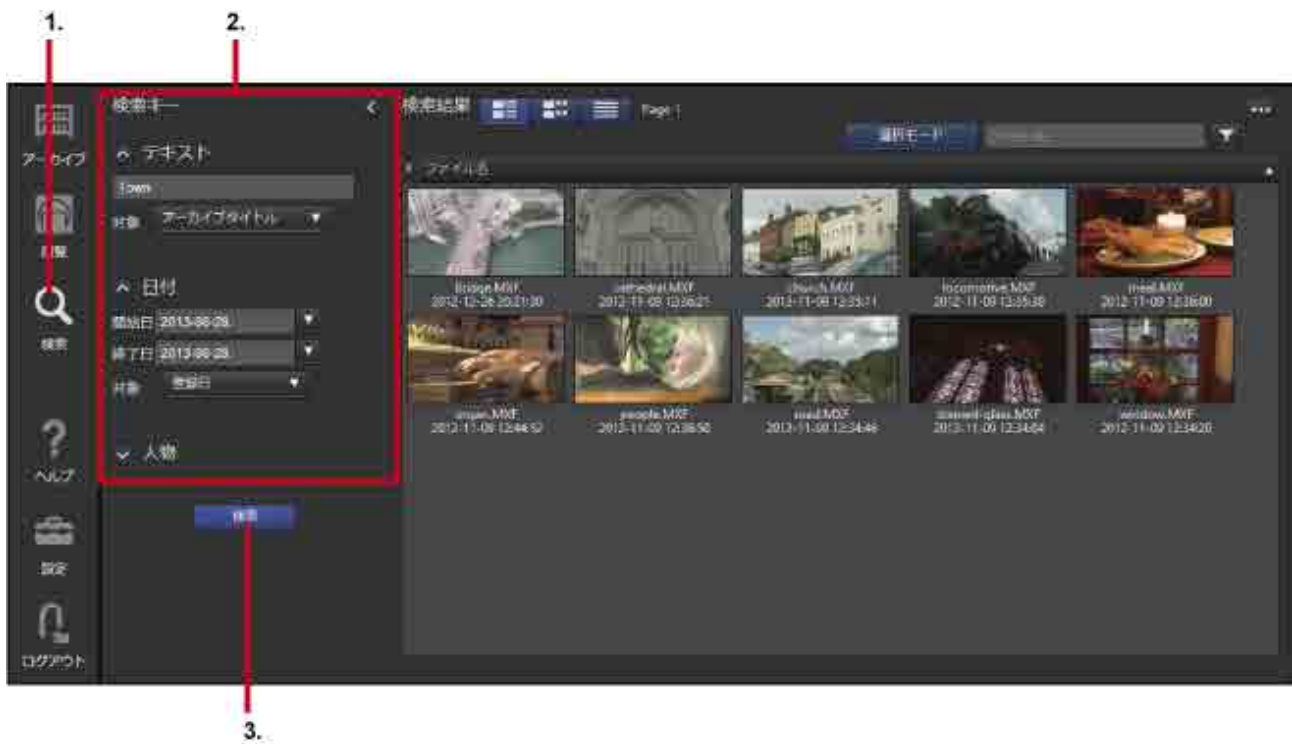
1. 検索画面、閲覧画面でリトリートするファイルをチェックして、プルダウンメニューから「リトリート」を選択する。
または、リトリートするファイルを選択して「ファイルの詳細」ダイアログを表示させ、「リトリート」ボタンをクリックする。
「リトリート」ダイアログが表示されます。選んだファイルはバスケットに表示されます。



2. 「取り出し先フォルダー」の「参照」ボタンをクリックして、リトリート後のデータの保存場所を指定する。
3. 選択したファイルに関連付けられたファイルもリトリートする場合は、バスケットでファイルを選択して「関連ファイルを追加」ボタンをクリックする。
ファイルの関連付けは、あらかじめ「メタデータ編集」ダイアログで行います。
バスケットのファイルを削除するときは、ファイルを選択して「削除」ボタンをクリックしてください。
4. 他のジョブより優先してリトリートを実行したい場合は、「優先して実行する」をチェックする。
チェックすると、他の実行中または実行待ちのジョブより優先してリトリートジョブが実行されます。
5. 「開始」ボタンをクリックして、リトリートを開始する。

ファイルを検索する

メタデータのテキストや日付、人物の顔でファイルを検索することができます。



1. グローバルメニューで検索アイコンをクリックする。

2. [検索キー] エリアで検索条件を設定する。

次の検索キーが指定できます。

- **テキスト**

テキストを入力し、検索対象をドロップダウンリストから選択します。メタデータの値のほかに、音声を書き起こしたテキストを検索することもできます。

- **日付**

作成日 / 登録日の期間を指定します。

- **人物 (顔)**

事前登録した顔画像から検索したい人物を選択します。人物を検索する場合は、事前に顔画像を登録する必要があります。

3. [検索] ボタンをクリックする。

検索が行われ、検索結果が表示されます。

ご注意


- 音声書き起こしテキストの検索および人物検索は、データの品質や録画状態によって、検索精度が異なります。
- 人物検索は、複数の人物を選択した場合と単一の人物を選択した場合とで、検索精度が異なります。


顔データを登録する

顔検索を利用する場合は、事前に顔画像データを登録する必要があります。1人につき5枚の異なる顔画像データが必要です。

1. グローバルメニューの検索アイコンをクリックする。

2. [検索キー] で [人物] をクリックして、人物リストを開く。

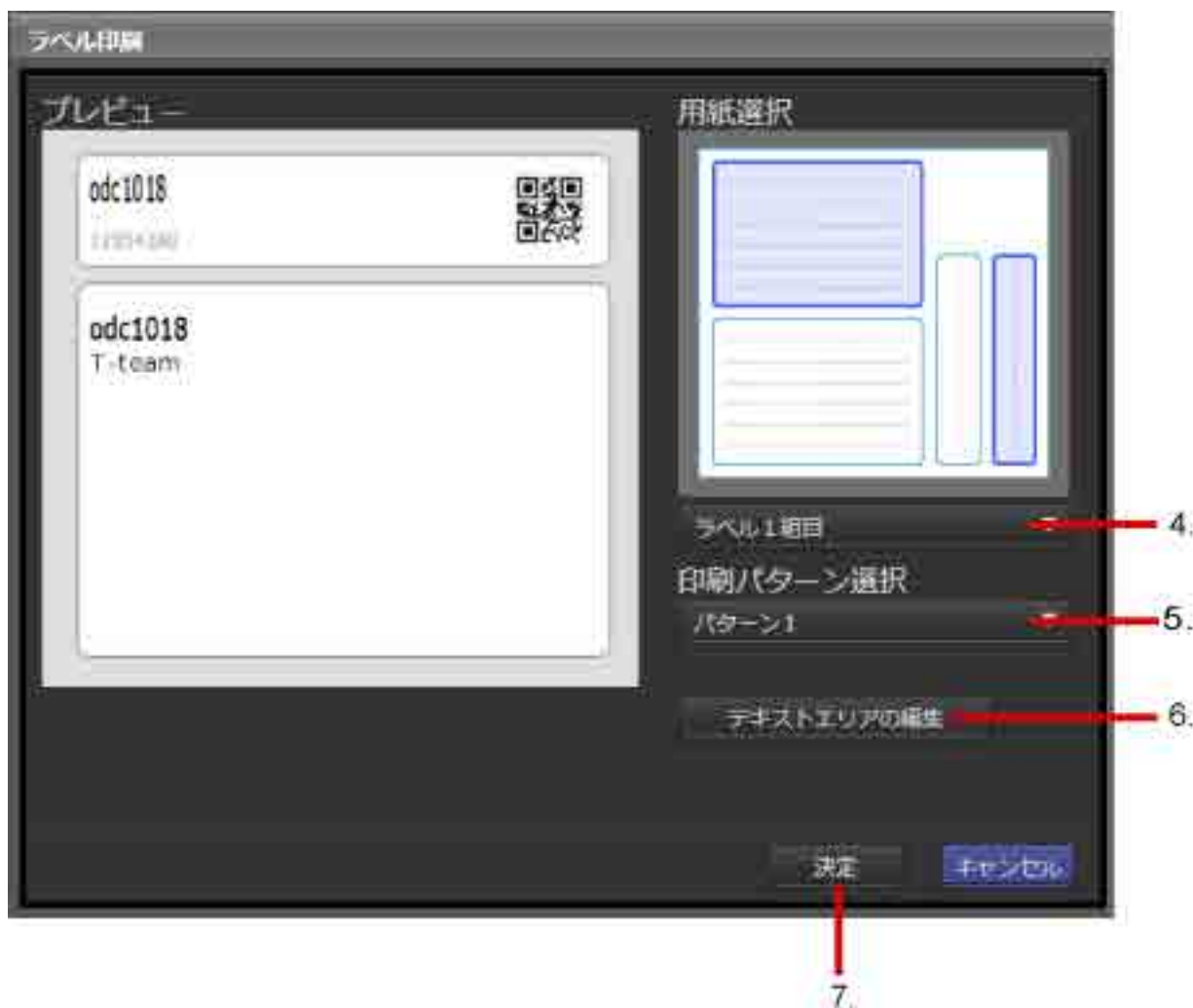
3.  ボタンをクリックする。
[顔登録] ダイアログが表示されます。
4. [アップロード] ボタンをクリックして、人物の顔画像をアップロードする。
顔が検出されると、顔画像がダイアログに表示されます。
5. 顔画像を 5 枚選択する。
選択した画像が、5 枚より多いまたは少ない場合は、登録できません。
6. [人物名] に名前を入力する。
7. [登録] ボタンをクリックする。
顔画像データが登録されます。

登録した顔画像データを削除する場合は、人物リスト内の顔データのチェックボックスを選択して、 ボタンをクリックします。

ラベルを印刷する

選択したカートリッジのメタデータをラベルに印刷することができます。

1. グローバルメニューで閲覧アイコンをクリックする。
2. 画面をカートリッジ表示にし、ツリーエリアでカートリッジを選択する。
3. [ラベル印刷] ボタンをクリックする。
[ラベル印刷] ダイアログが表示されます。



4. [用紙選択] リストボックスで印刷するラベルの種類を選択する。

- ラベル 1 組目：カートリッジに同梱されているラベルの 1 組目に印刷する
- ラベル 2 組目：カートリッジに同梱されているラベルの 2 組目に印刷する
- 最小サイズ：任意の用紙に印刷する

5. [印刷パターン選択] リストボックスでラベルのテンプレートを選択する。

[プレビュー] エリアに印刷プレビューが表示されます。

6. 必要に応じて [テキストエリアの編集] ボタンをクリックして、ラベルに印刷する内容を変更する。

7. [決定] ボタンをクリックする。

印刷プレビューが表示されます。

8. ブラウザーの印刷機能を利用して印刷する。

印刷の際は、以下の設定をおすすめします。

- 余白：0（なし）
- ヘッダー / フッター：Off（印刷しない）

ファイルの一覧を出力する

カートリッジにアーカイブしたファイルの一覧を出力することができます。ファイル一覧は、XML または CSV フォーマットで出力できます。

XML の場合は、カートリッジと各ファイルの情報を ZIP ファイルで出力します。また、カートリッジの代表画を出力できます。

CSV の場合は、各ファイルの情報を出力します。

1. グローバルメニューで閲覧アイコンをクリックする。
2. 画面をカートリッジ表示にし、ツリーエリアでカートリッジを選択する。

3. プルダウンメニューから「ファイルリスト出力」を選択する。
「ファイルリスト出力」ダイアログが表示されます。



4. 「ファイルフォーマット」で XML か CSV を選択する。
5. 「出力対象」で全ファイルを出力するか、ファイル一覧でチェックしたファイルだけを出力するかを選択する。
6. XML を選択した場合は、出力する項目を選択する。
 - サムネイル：カートリッジとファイルの代表画を出力するかどうかを選択する。
 - ファイルの情報：ファイルのメタデータについて、どの項目を出力するかを選択する（「メディアプロパティ」を選択した場合は、ビデオ情報、オーディオ情報、長さが出力されます）。
7. 「OK」ボタンをクリックする。
8. Web ブラウザーの設定、表示に従って、ファイルを保存する。

XML フォーマットを選択した場合は、zip ファイルを解凍して XML ファイルを表示します。

ご注意

XML ファイルは、Internet Explorer と Safari で閲覧できます。

カートリッジにメタデータを書き出す

Content Manager で使用しているカートリッジを他の Content Manager で使用する場合、カートリッジ内のファイルのメタデータをデータベースからカートリッジ内にエクスポートし、他の Content Manager でインポートすることができます。

メタデータをエクスポートするには

1. 閲覧画面のライブラリエリアで、オンライン状態のカートリッジを選択する。
2. プルダウンメニューから「メタデータ書き出し」を選択する。
メタデータがデータベースからカートリッジへ書き出されます。

メタデータをインポートするには

1. インポート先の Content Manager のあるコンピュータで、カートリッジをドライブに挿入する。
データベースの更新を求める「確認」ダイアログが表示されます。
2. 「メタデータのインポート」を選択して「OK」をクリックする。
メタデータがデータベースにインポートされ、カートリッジがアーカイブ画面のライブラリエリアに表示されます。

カートリッジの情報を削除する

オフライン状態のカートリッジの情報を削除することができます。カートリッジの中のオリジナルの映像ファイルはこの操作では削除されません。ファイルを完全に削除するには、Optical Disc Archive Utility を使用してください。

1. 閲覧画面をカートリッジ表示にし、削除したいカートリッジを選択する。
または、アーカイブ画面のライブラリエリアのツリーエリアで「オフライン」を選択し、リストエリアで削除したいカートリッジを選択する。
2. プルダウンメニューから「削除」を選択する。
3. 確認メッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリックする。
カートリッジの情報が削除されます。

カートリッジ内のファイル／フォルダーを削除する

オンライン状態のカートリッジに保存されているファイルやフォルダーを削除することができます。

1. アーカイブ画面のライブラリエリア、または閲覧画面 / 検索画面のファイル一覧で削除したいファイル / フォルダーを選択する。
2. プルダウンメニューから「削除」を選択する。
3. 確認メッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリックする。
カートリッジ内のファイル / フォルダーと情報が削除されます。

データベースを更新する

他のアプリケーションを使ってファイルの作成 / 更新 / コピーなどを行ったカートリッジをドライブに挿入すると、データベースを更新するかどうかを確認するダイアログが表示されます。これは、カートリッジ内のファイルの情報と Content Manager のデータベースの内容が一致していないためで、データベースを更新しない

とそのカートリッジへのアーカイブやそのカートリッジからのリトリートができません。カートリッジ内のファイルを別のカートリッジにアーカイブするだけの場合は、更新は不要です。

[確認] ダイアログで、次のいずれかを選択して、[OK] をクリックしてください。

- メタデータのインポート :

メタデータをカートリッジにエクスポートした場合は、このオプションを選択します。カートリッジ内に保存されているメタデータをインポートして、データベースを更新します。

- データベースの更新とメタデータの抽出 :

カートリッジのファイル情報をデータベースに登録し、同時にサムネイルやプロキシ映像などのメタデータを抽出します。

このオプションを選択した場合は、[OK] をクリックした後に抽出するメタデータの種類を選択するダイアログが表示されます。抽出するメタデータの種類について詳しくは、「アーカイブ済みファイルのメタデータを抽出する」をご覧ください。

なお、このオプションを選択した場合は、メタデータの抽出のため、データベースの更新が完了するまでに時間が掛かります。

- データベースの更新のみ :

メタデータの抽出は行わず、ファイル情報のデータベースへの登録のみ行います。

メタデータの抽出は、後で行うことができます。詳しくは、「アーカイブ済みファイルのメタデータを抽出する」をご覧ください。

- 更新しない :

データベースへの登録を行いません。このカートリッジは、アーカイブ画面のライブラリエリアには表示されず、アーカイブ先、リトリート元として使用することはできません。アーカイブ画面のデスクトップエリアには表示され、カートリッジ内のファイルをアーカイブすることはできます。

ご注意

メタデータの抽出を行う際は、設定画面の [アーカイブ] ページで設定したキャッシュフォルダーを使用します。そのため、メタデータの抽出を行う場合は、メタデータを抽出するファイルの合計サイズ以上の空き容量が、キャッシュフォルダーのあるドライブに必要です。最大では、カートリッジの使用済み容量と同じ空き容量が必要になります。

付録

本セクションでは、次の事項について記載しています。

- 各機能のサポートファイルフォーマット
- ご注意
- 商標について

各機能のサポートファイルフォーマット

本ソフトウェアの各機能がサポートするフォーマットを下記に示します。

サムネイル生成、プロキシ映像生成、音声書き起こしを利用した検索、顔画像による検索

サムネイルやプロキシ映像の生成、音声書き起こしを利用した検索、および顔画像による検索は、下記のフォーマットのファイルにのみ対応しています。

ご注意

- ソニー製の機器で生成したファイルについて、動作を保証しています。
- ProRes および DNxHD については、すべてのフォーマットに対して動作を保証するものではありません。

XDCAM

コンテナ：MXF

音声コーデック：PCM

SD フォーマット

フォーマット	フレームサイズ	フレームレート	画像コーデック	ビットレート
DV (SD)	720 × 480	59.94i	DV	25Mbps CBR
DV (SD)	720 × 576	50i	DV	25Mbps CBR
MPEG IMX (SD)	720 × 512	59.94i	MPEG-2 Intra	30, 40, 50Mbps CBR
MPEG IMX (SD)	720 × 608	50i	MPEG-2 Intra	30, 40, 50Mbps CBR

HD フォーマット

フォーマット	フレームサイズ	フレームレート	画像コーデック	ビットレート
MPEG HD	1280 × 720	50p, 59.94p	MPEG-2 Long GOP	25Mbps CBR
MPEG HD	1280 × 720	50p, 59.94p	MPEG-2 Long GOP	35Mbps VBR
MPEG HD	1280 × 720	50p, 59.94p	MPEG-2 Long GOP	50Mbps CBR
MPEG HD	1440 × 1080	23.98p, 25p, 29.97p, 50i, 59.94i	MPEG-2 Long GOP	17.5Mbps VBR
MPEG HD	1440 × 1080	23.98p, 25p, 29.97p, 50i, 59.94i	MPEG-2 Long GOP	25Mbps CBR
MPEG HD	1440 × 1080	23.98p, 25p, 29.97p, 50i, 59.94i	MPEG-2 Long GOP	35Mbps VBR

フォーマット	フレームサイズ	フレームレート	画像コーデック	ビットレート
MPEG HD422	1920 × 1080	23.98p, 25p, 29.97p, 50i, 59.94i	MPEG-2 Long GOP	35Mbps CBR
MPEG HD422	1920 × 1080	23.98p, 25p, 29.97p, 50i, 59.94i	MPEG-2 Long GOP	50Mbps CBR

XDCAM EX

コンテナ : AVI for DV, MP4 for MPEG HD

音声コーデック : PCM, 48kHz, 16bit

フォーマット	フレームサイズ	フレームレート	画像コーデック	ビットレート
DV	720 × 480	59.94i	DV	25Mbps CBR
DV	720 × 576	50i	DV	25Mbps CBR
MPEG HD	1280 × 720	23.98p, 25p, 29.97p, 50p, 59.94p	MPEG-2 Long GOP	35Mbps VBR
MPEG HD	1440 × 1080	50i, 59.94i	MPEG-2 Long GOP	25Mbps CBR
MPEG HD	1440 × 1080	23.98p, 25p, 29.97p, 50i, 59.94i	MPEG-2 Long GOP	35Mbps VBR
MPEG HD422	1920 × 1080	23.98p, 25p, 29.97p, 50i, 59.94i	MPEG-2 Long GOP	35Mbps VBR

XAVC

コンテナ : MXF

音声コーデック : PCM, 48kHz, 24bit, 8ch または 16ch

フォーマット	フレームサイズ	フレームレート	画像コーデック	ビットレート
XAVC Intra	1440 × 1080	23.98p, 25p, 29.97p, 50i, 59.94i	MPEG-4 AVC Intra	CBG Class 50
XAVC Intra	1920 × 1080	23.98p, 25p, 29.97p, 50i, 50p, 59.94i, 59.94p	MPEG-4 AVC Intra	CBG Class 100
XAVC Intra	2048 × 1080	23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 50p, 59.94p	MPEG-4 AVC Intra	VBR Class 100
XAVC Intra	2048 × 1080	23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 50p, 59.94p	MPEG-4 AVC Intra	CBG Class 100
XAVC Intra	3840 × 2160	23.98p, 25p, 29.97p, 50p, 59.94p	MPEG-4 AVC Intra	VBR Class 300
XAVC Intra	3840 × 2160	23.98p, 25p, 29.97p, 50p, 59.94p	MPEG-4 AVC Intra	CBG Class 300

フォーマット	フレームサイズ	フレームレート	画像コーデック	ビットレート
XAVC Intra	4096 × 2160	23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 50p, 59.94p	MPEG-4 AVC Intra	VBR Class 300
XAVC Intra	4096 × 2160	23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 50p, 59.94p	MPEG-4 AVC Intra	CBG Class 300
XAVC Long	1280 × 720	50p, 59.94p	MPEG-4 AVC Long	80 Mbps (最大)
XAVC Long	1920 × 1080	23.98p, 25p, 29.97p, 50i, 50p, 59.94i, 59.94p	MPEG-4 AVC Long	80 Mbps (最大)
XAVC Long	3840 × 2160	23.98p, 25p, 29.97p, 50p, 59.94p	MPEG-4 AVC Long	200 Mbps (最大)

XAVC S

コンテナ : MP4

音声コーデック : PCM, 48 kHz, 24 bit

フォーマット	フレームサイズ	フレームレート	画像コーデック	ビットレート
XAVC S	1920 × 1080	23.98p, 25p, 29.97p, 50p, 59.94p	MPEG-4 AVC Long	80 Mbps
XAVC S	3840 × 2160	23.98p, 25p, 29.97p	MPEG-4 AVC Long	188 Mbps
XAVC S	3840 × 2160	50p, 59.94p	MPEG-4 AVC Long	300 Mbps

AVCHD

コンテナ : MPEG-2 Transport Stream

音声コーデック : Dolby AC-3 または PCM, 2 ch, 48 kHz, 16 bit

フォーマット	フレームサイズ	フレームレート	画像コーデック	ビットレート
AVCHD	1280 × 720	59.94p	H.264/MPEG-4 AVC	24, 17Mbps
AVCHD	1440 × 1080	50i, 59.94i	H.264/MPEG-4 AVC	9, 5Mbps
AVCHD	1920 × 1080	23.98p, 25p, 29.97p, 50i, 59.94i	H.264/MPEG-4 AVC	24, 17Mbps
AVCHD	1920 × 1080	50p, 59.94p	H.264/MPEG-4 AVC	28Mbps

HDV

コンテナ : M2T for Windows, MOV for macOS

音声コーデック : MPEG-1 Audio Layer-2 for Windows, 32bit float PCM for macOS

フォーマット	フレームサイズ	フレームレート	画像コーデック
HDV	1440 × 1080	50i, 59.94i	MPEG-2 MP@H14

DV

コンテナ : AVI for Windows、MOV for macOS

音声コーデック : PCM

フォーマット	フレームサイズ	フレームレート	画像コーデック	ビットレート
DV (SD)	720 × 480	59.94i	DV	25Mbps CBR
DV (SD)	720 × 576	50i	DV	25Mbps CBR

ProRes (macOS のみ)

コンテナ : MOV

音声コーデック : PCM

各フォーマットには、次の 5 種類のファイルが含まれます。

Apple ProRes 4444, Apple ProRes 422 (HQ), Apple ProRes 422, Apple ProRes 422 (LT), Apple ProRes 422 (Proxy)

フォーマット	フレームサイズ	フレームレート
ProRes	720 × 486	23.98p, 29.97p, 60i
ProRes	720 × 576	25p, 50i
ProRes	960 × 720	23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 30p, 50p, 59.94p, 60p
ProRes	1280 × 720	23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 30p, 50p, 59.94p, 60p
ProRes	1280 × 1080	23.98p, 24p, 29.97p, 30p, 59.94p, 60p, 60i
ProRes	1440 × 1080	23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 30p, 50p, 59.94p, 60p, 50i, 60i
ProRes	1920 × 1080	23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 30p, 50p, 59.94p, 60p, 50i, 60i
ProRes	2048 × 1080	23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 30p, 50p, 59.94p, 60p
ProRes	2048 × 1556	23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 30p, 50p, 59.94p, 60p
ProRes	3840 × 2160	23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 30p, 50p, 59.94p, 60p
ProRes	4096 × 2160	23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 30p, 50p, 59.94p, 60p
ProRes	5120 × 2160	23.98p, 24p, 25p, 29.97p, 30p, 50p, 59.94p, 60p

DNxHD

コンテナ : MOV, MXF

音声コーデック : PCM

フォーマット	フレームサイズ	ファミリーネーム	カラースペース / ビット数	フレームレート / 最大ビットレート
DNxHD	1920 × 1080	Avid DNxHD 444	4:4:4/10 bit	29.97p @ 440 Mbps, 25p @ 365 Mbps, 24p @ 350 Mbps, 23.98p @ 350 Mbps

フォーマット	フレームサイズ	ファミリーネーム	カラースペース / ビット数	フレームレート / 最大ビットレート
DNxHD	1920 × 1080	Avid DNxHD 220x	4:2:2/10 bit	60p @ 440 Mbps, 59.94p @ 440 Mbps, 50p @ 365 Mbps, 59.94i @ 220 Mbps, 50i @ 185 Mbps, 29.97p @ 220 Mbps, 25p @ 185 Mbps, 24p @ 175 Mbps, 23.98p @ 175 Mbps
DNxHD	1920 × 1080	Avid DNxHD 220	4:2:2/8 bit	60p @ 440 Mbps, 59.94p @ 440 Mbps, 50p @ 365 Mbps, 59.94i @ 220 Mbps, 50i @ 185 Mbps, 29.97p @ 220 Mbps, 25p @ 185 Mbps, 24p @ 175 Mbps, 23.98p @ 175 Mbps
DNxHD	1920 × 1080	Avid DNxHD 145	4:2:2/8 bit	60p @ 290 Mbps, 59.94p @ 290 Mbps, 50p @ 240 Mbps, 59.94i @ 145 Mbps, 50i @ 120 Mbps, 29.97p @ 145 Mbps, 25p @ 120 Mbps, 24p @ 115 Mbps, 23.98p @ 115 Mbps
DNxHD	1920 × 1080	Avid DNxHD 100	4:2:2/8 bit	59.94i @ 100 Mbps, 50i @ 85 Mbps, 29.97p @ 100 Mbps, 25p @ 85 Mbps, 24p @ 80 Mbps, 23.98p @ 80 Mbps
DNxHD	1920 × 1080	Avid DNxHD 36	4:2:2/8 bit	60p @ 90 Mbps, 59.94p @ 90 Mbps, 50p @ 75 Mbps, 29.97p @ 45 Mbps, 25p @ 36 Mbps, 24p @ 36 Mbps, 23.98p @ 36 Mbps
DNxHD	1280 × 720	Avid DNxHD 220x	4:2:2/10 bit	59.94p @ 220 Mbps, 50p @ 175 Mbps, 29.97p @ 110 Mbps, 25p @ 90 Mbps, 23.98p @ 90 Mbps
DNxHD	1280 × 720	Avid DNxHD 220	4:2:2/8 bit	59.94p @ 220 Mbps, 50p @ 175 Mbps, 29.97p @ 110 Mbps, 25p @ 90 Mbps, 23.98p @ 90 Mbps
DNxHD	1280 × 720	Avid DNxHD 145	4:2:2/8 bit	59.94p @ 145 Mbps, 50p @ 115 Mbps, 29.97p @ 75 Mbps, 25p @ 60 Mbps, 23.98p @ 60 Mbps
DNxHD	1280 × 720	Avid DNxHD 100	4:2:2/8 bit	59.94p @ 100 Mbps, 50p @ 85 Mbps, 29.97p @ 50 Mbps, 25p @ 45 Mbps, 23.98p @ 50 Mbps

音声書き起こし検索の対応言語

音声書き起こし検索は、下記言語の Windows 版のみで使用可能です。macOS 版では使用できません。また、使用する言語の OS や言語パックが必要です。

- 英語

- フランス語
- ドイツ語
- スペイン語
- 中国語（簡体字）
- 中国語（繁体字）
- 日本語

サムネイル生成が可能な静止画ファイルフォーマット

静止画ファイルのサムネイル生成は、下記のフォーマットのファイルに対応しています。

ご注意

静止画ファイルに対して顔検索を行うことはできません。

- BMP
- JPEG
- PNG

プロキシファイルフォーマット

映像ファイルに対して生成されるプロキシファイルのフォーマットを下記に示します。プロキシファイルの生成時にいずれかのフォーマットを選択できます。

- H.264 高画質 : 480 × 270, 768kbps 程度 (16:9) / 320 × 240, 384kbps 程度 (4:3)
- H.264 標準 : 320 × 180, 384kbps 程度 (16:9) / 240 × 180, 192kbps 程度 (4:3)

ご注意

権利者の許諾を得ることなく、付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および付属のソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。

© 2013 Sony Corporation

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負い兼ねます。

このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。

このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer、および Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Finder、macOS、および Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Intel、Intel Core はアメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
- Google Chrome は Google Inc. の商標または登録商標です。

- Avid と Avid DNxHD は、アメリカ合衆国およびその他の国における Avid Technology, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名、会社名は一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。なお、本文中では、®、™ マークは明記していません。